

豊橋市制施行 110 周年記念事業 実施報告書



目 次

ごあいさつ	1
■ 記念事業の概要	2
■ 市制施行 110 周年記念事業	
記念式典	4
シンボルイベント	6
個別イベント	8
関連イベント	20
市民提案イベント	22
協賛イベント	40
フィナーレイベント	42
広報・出版等	44
■ 資料編	
推進体制・実施体制	48
豊橋市歌	55

ごあいさつ



豊橋市は、平成 28 年 8 月 1 日に市制施行 110 周年を迎えました。

明治 39 年に人口約 37,000 人、戸数わずか 9,900 戸で誕生した本市は、幾多の試練を先人のたゆまぬ努力と英知で乗り越え、東三河の中核都市として大きく発展してまいりました。

これまでの市民の皆様のご功績や努力を次の世代につなげ、この豊橋を愛する市民の想いを実現し、新たな活力を生み出すことで、次の 10 年、20 年に向けた一歩を踏み出していこうと様々な記念事業を開催してまいりました。多くの市民の皆様にご参加いただき、110 周年という記念すべき年を盛大に祝えたことを大変うれしく感じております。

とりわけ 110 件近くに及ぶ市民提案イベントでは、市民活動団体や企業、個人など豊橋市に関わる多くの方が主体となって、音楽やスポーツ、講演会、豊橋の自然や文化を紹介する取組みなど、多種多様なジャンルのイベントを企画、運営していただいたことで、本市の新たな魅力を発見し、広く市内外に発信することができました。

また、こうした活動を通じて一人ひとりの市民の力がつながり、それが絆となり、これからの豊橋をより良いまちにしていくための大きな財産が得られたと心から感謝しております。

この 110 周年記念事業で得られた人と人の絆や活力、豊橋の新たな魅力を継承・発展させ、『「人」も「まち」もいきいきと輝く豊橋』となるよう、市民の皆様とともに未来に向かって一歩一歩進んでまいりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

豊橋市長 佐原 光一

記念事業の概要

1. 記念事業の理念

市制 110 周年という節目に、100 周年で培った「市民協働」の理念を継承・発展し、110 周年での出会いや交流を通じて、今一度、自分たちのまちに目を向け、豊橋の魅力を発見・発掘・認識する活動を起こすことで、新たな魅力や活動を生み出すなど、豊橋に関わる誰もがこれまで以上に健康でいきいきと輝く社会を目指します。

2. 記念事業の基本方針

- 豊橋が持つ魅力の発見・発掘・認識
- イベントの実施などを通じた出会いや交流を創出し、豊橋らしさを発信・継承する
- イベントなどの企画・運営・実施などにより、豊橋に関わる人たちが「知る」×「つながる」×「かかわる」体験を通し、この豊橋の地において、いきいきと輝くためのきっかけづくりとする。

3. テーマ

「人」も「まち」も いきいきと輝く豊橋

4. 記念事業のロゴ



こんにちは、110周年。
すーっとよろしく、豊橋。

■ロゴについて

出会いや交流は、挨拶から始まります。
挨拶には、心を開いて近づくという意味があります。
人にとってもまちにとっても優しく、明るく健康的なコミュニケーションを象徴する言葉、そして110周年をアピールする言葉として「Hello」（ハロー、こんにちは）をデザインしたものです

5. 実施期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

6. 事業構成

市制施行 110周年記念事業

1 記念式典

市制施行 110 周年の節目を祝い、先人たちのたゆまぬ努力と輝かしい功績に感謝するとともに、過去を継承し、現在を認識し、未来に向けて考える機会とするため記念式典を実施

2 記念イベント

(1) シンボルイベント

市制施行 110 周年記念事業の核として、これからのまちづくりを見据え、多くの市民が参加して新たな魅力を発見・発信し、豊橋らしさを次の時代につなげるイベントを実施

(2) 個別イベント

市民が見て、聴いて、参加して、出会いや交流を創出し、豊橋の魅力を学び・発見・発信するとともに、心もからだも健康でいきいきと輝けるように、工夫を凝らしパワーアップしたイベントを開催

(3) 関連イベント

市制施行 110 周年に合わせ広域的に開催する「海フェスタ東三河」と「あいちトリエンナーレ 2016」などのイベントやTV番組などと連携したイベントを実施

(4) 市民提案イベント

市制 110 周年記念事業の基本理念等に基づき、市民活動グループや団体及び企業などが自主的に企画し実施するイベントなどに、一定の事業費やサポート課による支援を実施

【対象】 多くの市民が参加し、豊橋を広く市内外に発信でき、新たな出会いや交流が生まれる事業

(5) 協賛イベント

市民活動グループや団体及び企業などが実施するイベントなどで、市制施行 110 周年記念事業の趣旨に沿うものにロゴの使用や広報など一定の支援を実施

(6) フィナーレイベント

市制施行 110 周年の締めくくりとして、記念事業を振り返り、今後の豊橋市について考えるきっかけとするイベントを開催

3 広報・出版等

市制施行 110 周年記念式典

開催日 平成 28 年 8 月 1 日(月)
会場 穂の国とよはし芸術劇場 プラット
参加人数 1,800 人(来場者)、1,360 人(インターネット視聴)

豊橋市が市制施行 110 年を迎えた平成 28 年 8 月 1 日、「豊橋市制施行 110 周年記念式典」を盛大に開催しました。

式典は第 1 部と第 2 部で構成し、午前の第 1 部では、26 年ぶりに名誉市民推戴が行われ、神野信郎氏が 11 人目の名誉市民に推戴されたほか、各分野で市政の発展に貢献された功労者 110 人への感謝状贈呈などを行い、その功績に敬意を表しました。また、約 110 人の市民合唱団による市歌合唱や華やかなアトラクションで祝賀ムードを演出しました。

午後の第 2 部では、豊橋市出身の松井玲奈さんに「豊橋ふるさと大使」と「豊橋カレーうどん大使」の委嘱が行われました。また、次の世代を担う高校生たちが、自ら考えた舞台パフォーマンス「Hello, World! ーツナガリ ツヅケル ジセダイー」において、苦悩や葛藤を乗り越え、自立し、新たな価値を創造する大人になるための成長の過程を舞台で表現しました。





花への感謝、種の継承、そして種から花へ



第1部

- 1 開式
- 2 合唱 豊橋少年少女合唱団
- 3 豊橋市歌合唱
- 4 市長式辞
- 5 市議会議長挨拶
- 6 豊橋市名誉市民推戴
- 7 豊橋市表彰
- 8 豊橋市教育・体育・文化表彰
- 9 感謝状贈呈
- 10 来賓祝辞 愛知県知事 大村秀章
- 11 書道パフォーマンス 鈴木 愛
- 12 マーチングバンド
藤ノ花女子高等学校マーチングバンド部
RED PEPPERS

第2部

- 1 豊橋ふるさと大使・
豊橋カレーうどん大使委嘱式
- 2 高校生による舞台
Hello, World!
ーツナガリ ツツケル ジセダイー



夏色 MERRY blossom ～笑顔あふれる花のまち～

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 7 月 30 日(土)～8 月 1 日(月)
 会場 豊橋駅を中心とするまちなか
 参加人数 25,000 人
 協働者数 5,000 人

豊橋市が 10 年、20 年先においても笑顔や活気に満ちあふれるまちである様子を、市を代表する花などで表現し、まちなかから豊橋市の元気を広く内外に発信するイベントを開催しました。

玄関口となる豊橋駅や自由連絡通路では、コショウランを使ったモニュメントや壁面ラッピングで飾りつけをしたほか、駅周辺の広場エリアにおいては、笑顔のアート作品を核に、児童によるひまわり畑、園児による笑顔の皿、自治連合会が作成したコミュニティガーデンなど、多くの世代の方々が祝賀ムードを盛り上げました。

また、記念式典のプレイベントとして、地元ダンサーなどによるパフォーマンスを行うとともに、110 本の笑顔の傘を使ったメッセージを市民とともに発信しました。



■笑顔発信プロジェクト

- 1 笑顔の傘、笑顔のフラッグ
市民の笑顔を使った笑顔の傘やフラッグを作成し、まちなかに展開
- 2 笑顔の皿プロジェクト
「希望の笑顔」をテーマに、園児たちが描いた「笑顔の皿」約 3,000 枚を使用した巨大アートを展示
- 3 プレオープニング
地元市民ダンサーや保育園児などによるダンスの披露や、豊橋の子どもたちの「笑顔の傘を使用したパフォーマンスを実施

■まちなか花いっぱいプロジェクト

- 1 思い伝えるまちなか花バトン
市内全校の小学生が、3 か月間、愛情を込めて育てたひまわりを駅前商店街に設置
- 2 まちなかオアシス「巨大ひまわりと水空間」
豊橋駅南口駅前広場に夏を代表する花をモチーフに「巨大アート」を設置
- 3 自治連合会コミュニティガーデン
プラット前芝生広場に各校区自治会がそれぞれの地域の特徴を生かした花壇を設置
- 4 シンボルモニュメント「コショウランの女神」
豊橋駅東西自由連絡通路に自らが花と一体になれるシンボルモニュメントを設置
- 5 豊橋駅連絡通路特別ラッピング
豊橋駅東西自由連絡通路に豊橋産の農作物をモチーフにしたラッピングを実施

みんなでつながろう！ 花と野菜で FUN NIGHT RUN

主 催 FUN NIGHT RUN 実行委員会
 開 催 日 平成 28 年 8 月 27 日(土)
 会 場 豊橋公園
 参加人数 2,000 人

豊橋の美しい花やおいしい農産物を楽しみながら、夏の夜に家族や仲間と走る、豊橋市初のリレーマラソンを開催しました。

豊橋公園 1 周 1.5 キロメートルのコースをたすきでつなぐ 3 時間のリレーマラソンの中に、豊橋産の花のモニュメントや野菜を配布するゾーンを設けたほか、かき氷、お化け屋敷、スプラッシュゾーンに加え、フィナーレの手筒花火など、夏の夜ならではのイベント要素を盛り込みました。

各ゾーンでは、地元ボランティアや豊橋西高等学校の生徒たちが運営に協力し、イベント全体が活気であふれました。



■参加部門

- ・一般の部
- ・高校生の部
- ・コスプレの部

■ゾーン

- ・シークレットゾーン
- ・かき氷ゾーン
- ・ホラーゾーン
- ・野菜ゾーン
- ・スプラッシュゾーン



地域の魅力、再発見！ ～出かけて、感じて、ええじゃないか豊橋～

主催 豊橋市自治連合会、豊橋市
開催日 平成28年4月17日(日)～平成29年1月7日(土)
会場 市内32か所、豊橋市公会堂(抽選会)
参加人数 15,295人(スタンプラリー)、582人(抽選会)

豊橋市の魅力を再発見してもらうため、自治会おすすめの名所、旧跡、まつりなど豊橋市内8ブロック32か所をめぐるスタンプラリーを実施しました。また、平成29年1月7日に、合計10個のスタンプを集めた方を対象に「達成賞抽選会」を行いました。ラリーポイントの運営は地域住民が行い、工夫を凝らして参加者を迎えました。



街中(まちじゅう)530アート大作戦 ～街中に満開のひまわりを咲かせよう！～

主催 530運動環境協議会
開催日 平成28年5月1日(日)～平成29年3月31日(金)
会場 市内全域
参加人数 160,000人

ただのゴミ拾いに「アート」の要素を加え、参加者全員がアーティストとなり、楽しみながらゴミ拾い(アート活動)ができるように、「ひまわり」をデザインした530アートごみ袋を作成しました。春・秋の530運動実践活動や駅前クリーンアップ大作戦などで、この袋を使用して清掃活動を行いました。



とよはし星空キャラバン隊 あなたの地域に星空をお届け！

主催 豊橋市教育委員会
開催日 平成28年5月3日(火)～11月12日(土)全6回
会場 少年自然の家など6か所
参加人数 1,134人

豊橋市内6か所で星空観望会を実施しました。キャラバン隊として各会場へサイエンス・ボランティアの方々と共に機材運び、望遠鏡や肉眼による星空の案内と、天体の解説を行いました。各地で開催することにより、いつもの地下資源館屋上で行う観望会の参加者とは違った方々に参加してもらうことができました。



豊橋まちなか歩行者天国

主催 豊橋市
開催日 平成28年5月4日(水)～11月13日(日)全10回
会場 広小路一・二丁目、ときわアーケード
参加人数 292,000人

中心市街地活性化のため、車道を歩行者天国化し、全10回話題性のある様々なテーマでイベントを実施することで過去最高の参加者数となりました。豊橋駅周辺に久しぶりに来た方には、街中の変化を感じてもらえることができ、市外の方で初めて豊橋に来た方には、活気のある街や歩いて楽しい街という印象を持ってもらえました。



知っトク！豊橋ゼミナール（キックオフイベント）

主催 豊橋市、豊橋市教育委員会
 開催日 平成 28 年 6 月 25 日（土）～26 日（日）
 会場 こども未来館ここにこ
 参加人数 2,000 人

豊橋の魅力を知る方を講師に迎え、豊橋の魅力を楽しみながら学ぶ講座（28 講座）を実施しました。また、「ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE」などによるパフォーマンスステージ、ラジオの公開生放送、豊橋・東三河の食のコーナーなども開催し、多くの方に豊橋の魅力を聞いて、見て、体験してもらうことができました。



知っトク！豊橋ゼミナール

主催 豊橋市教育委員会
 開催日 平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月
 会場 各地区市民館
 参加人数 延べ 1,364 人

各地区市民館において各館ごとに地域の魅力を再発見する内容の連続講座を 22 講座（「ミュージシャン喜多郎豊橋から世界へ」「里山復活！ささゆりの里」等）実施しました。二川宿や市電、葦毛湿原の様な市民にとって周知のテーマであっても、専門の講師から話を聞くことで新たな発見があったとの声が多数ありました。



とよはし健康マイレージ ～豊橋産野菜を食べて健康になろう～

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）
 会場 ー
 参加人数 1,357 人

とよはし健康マイレージ参加者のうち、ポイントをためて応募した方を対象に、抽選（110 人）で豊橋産野菜とお米の詰め合わせをプレゼントしました。他の市制 110 周年記念事業を健康マイレージポイント付与対象イベントとすることで、当事業参加者がイベントに多く参加し、豊橋の魅力を発見することができました。



ふるさと寄附返礼品

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 6 月 1 日（水）～平成 29 年 3 月 31 日（金）
 会場 ー
 返礼品件数 1,663 件

ふるさと寄附金への返礼品を充実させ、より多くの方に豊橋市を応援していただくため、新たに特産品や体験型の返礼品など拡充を図るとともにふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載を行いました。体験型返礼品では、のんほいパーク満喫『園内を巡る！セグウェイとバックヤードツアー』などを開始したことで、本市へ訪れるきっかけとなるとともに認知度向上につながりました。



新生代展示室改装記念式典

主 催 豊橋市自然史博物館
 開 催 日 平成 28 年 5 月 2 日（月）
 会 場 豊橋市自然史博物館
 参加人数 250 人

新しくなった展示室は、展示標本が従前の約 5 倍となる 624 点に増え、体感できる最新の映像技術を使った見ごたえがある展示空間となりました。地元児童とのテープカットや、名古屋芸術大学の方々によるミュージアムコンサート（自然史博物館オリジナル曲の初披露など）を開催し、改装した新生代展示室を披露しました。



豊橋市制 110 周年記念『第九』演奏会

主 催 豊橋市制 110 周年記念『第九』演奏会実行委員会
 開 催 日 平成 28 年 6 月 5 日（日）
 会 場 アイプラザ豊橋
 参加人数 1,332 人（来場者）、370 人（出演者）

公募により集まった市民合唱団「ええじゃないか豊橋第九を歌う会」と豊橋交響楽団による演奏会を開催しました。ベートーヴェン「交響曲第九番（合唱付き）」の演奏で、観客と出演者とともに市制施行 110 周年を祝いました。合唱団は 10 歳から 85 歳までの幅広い世代の市民が参加し、音楽を通して世代を超えた交流が育まれました。



市制施行 110 周年特別企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」

主 催 豊橋市自然史博物館、読売新聞社
 開 催 日 平成 28 年 7 月 15 日（金）～10 月 10 日（月）
 会 場 豊橋市自然史博物館
 参加人数 37,214 人

「なぜ竜脚類は大きくなったのか」をテーマにスペインの恐竜博物館より借用した日本初公開の化石や最新学説の紹介を通じて恐竜巨大化の謎に迫る特別企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」を開催しました。全国紙による周知活動を行ったことで、自然史博物館へ初めて訪れる方も多く、のんびりパークも含めて魅力の発信ができました。



第 62 回東海公衆衛生学会学術大会

主 催 東海公衆衛生学会、豊橋市
 開 催 日 平成 28 年 7 月 16 日（土）
 会 場 穂の国とよはし芸術劇場プラット
 参加人数 194 人

豊橋市はスマートウェルネスシティを目指して、「健康なまちづくり」を進めており、その一環として東海公衆衛生学会学術大会を開催しました。公衆衛生分野の研究者等による研究発表に加え、「健康なまちづくり」をテーマにした特別講演や、同テーマのシンポジウムは市民参加で行うことで、市民とともに考える機会になりました。



第7回豊橋青少年オーケストラキャンプ

主催 豊橋青少年オーケストラキャンプ実行委員会
 開催日 平成28年7月27日(水)～30日(土)
 会場 ライフポートとよはし
 参加人数 962人(来場者)245人(出演者)

東三河の中・高校生に、世界の第一線で活躍する音楽家による指導と、音楽を志す青少年の交流の場を提供することを目的に、豊橋青少年オーケストラキャンプを開催しました。参加者は、ドイツから招聘した音楽家による集中レッスンを受け、最終日には講師とともにオーケストラを結成し、迫力ある演奏で観客を魅了しました。



豊橋市スポーツ鬼ごっこキッズ選手権大会

主催 豊橋市、子ども会連絡協議会
 開催日 平成28年7月30日(土)
 会場 陸上競技場
 参加人数 300人

外で遊ぶことの楽しさを伝えることと、子どもの基礎体力向上を目的としたスポーツ鬼ごっこのキッズ選手権大会を開催しました。競技に先立ち、日本を代表する陸上選手によるスポーツクリニックも併せて開催し、参加者はかけっこ時のフォームや鬼ごっこにちなんだ横の動きを学び、走る楽しさを体感することができました。



子どもクリーン隊 ～打ち水大作戦～

主催 豊橋市
 開催日 平成28年7月31日(日)
 会場 こども未来館ここにこ、花園商店街、広小路商店街
 参加人数 30人

子どもクリーン隊の、豊橋市がこれからもずっときれいな街であり続けてほしいという想いと、街中商店街の方に涼しさを届けたいという想いから、清掃活動と打ち水を行いました。街中は清掃の必要がない箇所が多くあり、ゴミゼロ運動発祥の街として、日頃から地域の方によりきれいな街が維持されていることが実感できました。



Flower Gift Anniversary ～花贈り記念日～

主催 豊橋市
 開催日 平成28年8月1日(月)2日(火)8日(月)
 会場 豊橋市役所
 参加人数 108人

市民課窓口にて婚姻届または出生届を届け出た方を対象に、花贈りパフォーマー「花男子」よりミニブーケを贈呈しました。新しく誕生した子どもとその家族、結婚した二人の記念すべき日に花束を贈ることで、市制記念日と婚姻年数や子どもの成長とを重ねてもらい、より豊橋市に愛着を持つきっかけとなりました。



プレミアムナイトガーデン

主催 豊橋総合動植物公園
 開催日 平成 28 年 8 月 6 日（土）他 12 日間
 会場 豊橋総合動植物公園
 参加人数 47,326 人

毎年恒例のナイトガーデンの開催期間を延長し、夜間展示動物を増やすとともに、展望塔を活用したプロジェクションマッピングや水を使ったアトラクションを実施するなど、規模を拡大して開催しました。カナル沿いにはご当地グルメの店が軒を連ね、夏休み中の家族連れなどで賑わいました。



『議会 de クイズ』～議場で楽しむ。議会を学ぶ。 大人の階段、のぼるクイズ～

主催 豊橋市議会
 開催日 平成 28 年 8 月 20 日（土）
 会場 豊橋市議会議場
 参加人数 92 人

市内 23 校の中学生を対象としたクイズ大会を開催しました。また、クイズ大会終了後には議員の案内による議会の仕事場見学ツアーを実施しました。クイズの出題を通じて、中学生に豊橋の歴史や市所有の施設を認識してもらうことができ、議会及び選挙に対する興味・関心を深めてもらうことができました。



こども会議 ～市長さんと語ろう～

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 8 月 29 日（月）
 会場 こども未来館ここにこ
 参加人数 23 人（市内中学 2 年生）

市内の中学 2 年生が「10 年後の豊橋を考えよう～住み続けたいまち豊橋～」をテーマに、市の未来を豊橋市長と考えるワークショップ「こども会議～市長さんと語ろう～」を開催しました。豊橋のいいところ・足りないところを話し合い、現状分析から提案まで行うことで、魅力の再発見に繋がりました。



市制施行 110 周年記念 放浪の天才画家 山下清展

主催 豊橋市美術博物館、中日新聞社
 開催日 平成 28 年 9 月 22 日（木）～10 月 23 日（日）
 会場 豊橋市美術博物館
 参加人数 28,359 人

「日本のゴッホ」と呼ばれた山下清が画家として何を考え、何を感じながら作品を生み出したのかという視点にたった展覧会を開催しました。全 3 章からの構成で、初期から晩年までの代表的な貼絵を始め、吉田城址や二川を描いた版画などを展示しました。期間中には小学生らが貼絵に挑戦するなど、美術に親しむ機会となりました。



ブラジリアンアートフェスティバル

主催 あいちトリエンナーレ 2016 豊橋会場実行委員会
 開催日 平成 28 年 10 月 1 日（土）
 会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット
 参加人数 700 人

日系ブラジル人アーティストをブラジルから招聘し、ブラジル人だけでなく日本人もともに楽しめる音楽イベントを開催しました。バンドと絵画アーティストによる歌と絵画のコラボレーションコンサートや、フェイスペイントやビスクイなどのブラジル文化の体験を実施し、日本人とブラジル人との交流のきっかけとなりました。



平成 28 年秋巡業 大相撲豊橋場所

主催 中京テレビ
 開催日 平成 28 年 10 月 14 日（金）
 会場 豊橋市総合体育館
 参加人数 4,600 人

横綱、大関などの人気力士が出演する地方巡業、大相撲豊橋場所を 17 年ぶりに開催しました。来場者は、大迫力の取組だけでなく、巡業名物の「初切（しょっきり）」、「相撲甚句」、「握手会」などを存分に堪能しました。中でも地元の小学生らと現役人気力士とのちびっこ相撲の取組は学校の垣根を超えた出会いや交流が生まれました。



第 62 回ええじゃないか豊橋まつり内イベント「ええじゃないか！天才クイズ in 豊橋」

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 10 月 16 日（日）
 会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット
 参加人数 173 人

ええじゃないか豊橋まつりにおいて、懐かしの人気クイズ番組「天才クイズ」を再現し、市内の小学 4 年生から 6 年生が天才賞を目指して〇×クイズにチャレンジしました。クイズは、豊橋市の歴史や文化にちなんだ内容とすることで、本市について学ぶきっかけとなりました。



第 62 回ええじゃないか豊橋まつり内イベント「プロレスって“ええじゃないか”！！&メディカルプロレス」

主催 豊橋市
 開催日 平成 28 年 10 月 16 日（日）
 会場 松葉公園
 参加人数 1,000 人

現役の医師がプロレスラーに扮して、突然のけが等で困ったときの対処方法や日常生活の医療問題をコミカルにわかりやすく説明し、適正受診やかかりつけ医の普及を目指すメディカルプロレスを実施しました。協力団体には地元選手が活躍する団体もあり、来場者からは、おもしろく医療を勉強できたとの声がありました。



市制施行 110 周年記念・美術博物館リニューアル記念展 「NIHON 画 ～新たな地平を求めて」

主 催 豊橋市美術博物館、中日新聞社
 開 催 日 平成 28 年 10 月 29 日（土）～12 月 11 日（日）
 会 場 豊橋市美術博物館
 参加人数 4,833 人

戦後を代表する日本画家や前衛画家たちの革新的な作品や、戦後日本画壇で活躍した中村正義、星野真吾ら郷土の日本画家の作品など 55 作家 63 点を展示し、「日本画」のこれからを検証する記念展を開催しました。改めて多彩な才能を生み出した豊橋の風土と文化的基盤を見つめ直す機会となりました。



市制施行 110 周年記念事業 中学校合唱フェスティバル

主 催 豊橋市教育委員会
 開 催 日 平成 28 年 11 月 5 日（土）
 会 場 ライフポートとよはし
 参加人数 440 人

各中学校の日頃の合唱活動の成果を披露するため、中学校合唱フェスティバルを開催しました。市内 22 校の中学校から出場を希望した 10 校が合唱を披露し、審査員が指導講評を行いました。他校の合唱を聴くことで、中学生同士のつながりを感じられ、また全員での「豊橋市歌」の合唱で市民としての自覚をもつことができました。



三遠ネオフェニックスメモリアル 第 36 回豊橋みなとシティマラソン

主 催 豊橋市、(公財)豊橋体育協会ほか
 開 催 日 平成 28 年 11 月 6 日（日）
 会 場 豊橋総合スポーツ公園ほか
 参加人数 3,155 人

豊橋総合スポーツ公園から三河港神野地区をコースとして、豊橋みなとシティマラソンを開催しました。また、付帯イベントとして、キッズダンスチームや和太鼓団体が、ランナーをもてなしました。新設された車椅子競技部門では高校生が介添え補助として参加し、また高齢者団体が給水物を手渡すなど、新たな交流が生まれました。



とよはしキラキラ☆イルミネーション 2016

主 催 とよはしキラキラ☆イルミネーション実行委員会
 開 催 日 平成 28 年 11 月 20 日（日）～平成 29 年 2 月 14 日（火）
 会 場 豊橋駅東口駅前ペDESTロリアンデッキ周辺
 参加人数 ー

豊橋の顔である駅前周辺の魅力を発信するためにアーチ型のイルミネーション装飾やイルミネーションでデコレートされたケーキなどの装飾を施しました。点灯式には地元マーチングバンドの演奏や自転車発電による点灯トライアルを実施しました。アーチ型イルミネーションは産学官が連携して研究した技術を基に作成されました。



ステアーレース 2016 イン豊橋大会

主催 日本消防警察スポーツ連盟
Stair Race 2016 in TOYOHASHI 実行委員会
開催日 平成 28 年 11 月 20 日 (日)
会場 豊橋総合動植物公園
参加人数 255 人

のんほいパークの展望塔を舞台に全国の消防士、消防団員、警察官、海上保安官、自衛隊員が参加する「階段駆け上がりレース」を開催しました。同時開催の「ヒーローズフェア」では、各分野の啓発や消防音楽隊の演奏などを実施しました。参加選手やその家族、さらにはボランティアが全国から集まり、交流に花を咲かせました。



とよはし2DAYマーチ ～秋のだーい遠足～

主催 豊橋市
開催日 平成 28 年 11 月 26 日 (土) ～27 日 (日)
会場 市内 (豊橋駅、二川駅ほか)
参加人数 427 人

市内の名所を歩くことで、歩くことの楽しさや豊橋市の魅力を再発見するウォーキングイベントを 1 日目は豊橋駅、2 日目は二川駅を発着として開催しました。コースは、初級、中級、上級の 3 コースで、自治会との協働で作成したコースを活用することで、参加者には地元ならではの見所や豊橋の自然を感じてもらうことができました。



第 23 回三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会

主催 三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会
開催日 平成 28 年 11 月 27 日 (日)
会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット
参加人数 700 人

三遠南信地域の地芝居の保存会が一堂に会して歌舞伎を上演する「三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会」を開催し、6 団体が出演しました。大会前日には交流会を開催し、地域の伝統文化や歌舞伎に関する情報交換などで交流を深めることができました。また、来場者からは伝統文化を楽しむ契機となったなどの声がありました。



障害者週間イベント ～とどけ！ぼくらのアート ひびけ！君のハート～

主催 豊橋市
開催日 平成 28 年 12 月 10 日 (土)
会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット
参加人数 700 人

障害のある者もない者も芸術を通じてともに理解し合うためのイベントを開催しました。特別支援学校の児童生徒によるダンスや和太鼓のパフォーマンス、小中学生によるふくし体験発表会、障害当事者及びその家族による講演会、共に創り上げたアートやレクリエーションを通じて障害の有無にとらわれず互いに理解し合う機会の一歩となりました。



とよはしクリスマスマーケット

主 催 豊橋市
 開 催 日 平成 28 年 12 月 22 日（木）～24 日（土）
 会 場 豊橋駅南口駅前広場
 参加人数 15,000 人

ヒュッテブース（木組み風屋台）、巨大なクリスマスツリーの設置、オーナメントやイルミネーションによる会場装飾など本場ドイツに模したクリスマスマーケットを開催しました。会場だけの賑わいに終わらず、周辺にも賑わいが生まれました。また、園児や市民によるハンドベルやゴスペルは日頃の成果の発表の場となりました。



世界雑巾 2016+

主 催 世界雑巾実行委員会
 開 催 日 平成 28 年 12 月 25 日（日）
 会 場 豊橋市立くすのき特別支援学校
 参加人数 1,000 人

くすのき特別支援学校の回廊型の廊下を利用して、雑巾がけのレースを開催しました。小学生低学年の部から始まり、ペアや団体リレーなど、様々な部門のレースを実施しました。また、ワークショップ、特別支援の生徒の作業製品、福祉事業者の出店などがあり、選手だけでなく来場者もイベントを楽しみました。



第 4 回 普門寺ウォーク！

主 催 豊橋市美術博物館
 開 催 日 平成 28 年 12 月 3 日（土）
 会 場 普門寺
 参加人数 430 人

普門寺の裏山にある古代から中世にかけての旧境内の遺構を自由に散策するウォーキングイベントを開催しました。当日は「もみじまつり」の開催や仏像など所有文化財の御開帳もあり、多くの方に参加いただきました。歴史好きだけでなく健康志向の方にも参加いただき普門寺の歴史を遺跡から体感することができました。



平成 29 年豊橋市消防出初式

主 催 豊橋市消防本部、豊橋市消防団
 開 催 日 平成 29 年 1 月 7 日（土）
 会 場 豊橋球場
 参加人数 1,048 人

市内消防関係者が一堂に集い、消防力を示し、関係者の士気を高める消防出初式を市民参加型で開催しました。例年の式典に加え、鼓笛、和太鼓、三味線の演奏、書道作家らによるパフォーマンスなどで式を盛り上げました。出演者同士の高い技術でお互いを刺激しあったコラボレーションによる演技は練習のたまものでした。



市制施行 110 周年記念 普門寺と国境のほとけ展

主催 豊橋市美術博物館
 開催日 平成 29 年 1 月 21 日（土）～2 月 26 日（日）
 会場 豊橋市美術博物館
 参加人数 14,369 人

雲谷町にある高野山真言宗・普門寺の旧境内からの出土品や、普門寺が所蔵する仏像（伝釈迦如来坐像など）の展示、記念講演会などを実施しました。平安・鎌倉時代に三河と遠江の国境地帯に花開いた仏教文化を、市民からなる文化財サポーターによる展示解説なども生かしながら、わかりやすく伝えることができました。



2016 年度外国人集住都市会議とよはし

主催 外国人集住都市会議
 開催日 平成 29 年 1 月 31 日（火）
 会場 ロワジールホテル豊橋
 参加人数 400 人

外国人住民の多様性をまちづくりに活かし、共生社会を築くため、南米日系人を中心とした外国人住民の多数居住する自治体の関係者が集まり、市内でシンポジウムを開催しました。会議内で実施したパネルディスカッション、民族舞踊などのアトラクションを通して多文化共生の啓発につながりました。



まちづくり講習会

主催 豊橋市、豊橋市自治連合会
 開催日 平成 29 年 2 月 5 日（日）
 会場 豊橋市公会堂
 参加人数 400 人

地域におけるまちづくりの活性化を目的として、日本 NPO センター代表理事を招聘し、「自治会と市民活動団体が連携した地域づくり」と題した講演会と市民活動団体等による 4 つの「協働のまちづくり」取り組み事例発表を行いました。会場内では講演等を聴くだけでなく、自治会や各団体間の意見交換の場にもなり交流が図れました。



市制施行 110 周年記念 豊橋・ヴォルフスブルグ交流展

主催 豊橋市美術博物館、ヴォルフスブルグ市立美術館、ハイデルスベルガー研究所
 開催日 平成 29 年 2 月 25 日（土）～3 月 26 日（日）
 会場 豊橋市美術博物館
 参加人数 4,049 人

パートナーシティ提携のドイツ・ヴォルフスブルグ市を拠点に活動した国際的写真家ハインリヒ・ハイデルスベルガー（1906-2006）の写真作品展を開催しました。開場式にはヴォルフスブルグ市長にもご臨席を賜り、研究員による作品解説を実施しました。



ええじゃないかとよはし映画祭

主催 ええじゃないかとよはし映画祭実行委員会
 開催日 平成 29 年 3 月 3 日（金）～5 日（日）
 会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット、開発ビル 10 階ホール
 参加人数 3,717 人

映画の魅力を活用し、市外の若い世代に豊橋を訪れてもらうため、豊橋市がロケ地の作品や豊橋ふるさと大使を含め豊橋・愛知ゆかりの映画関係者が関わった作品を上映する映画祭を開催しました。ゲストによる舞台挨拶や映画関係者によるカンファレンスを実施しました。北は岩手県、南は沖縄県、全国から来場者が訪れました。



飛鳥Ⅱ 寄港関連イベント

主催 三河港振興会
 開催日 平成 29 年 3 月 17 日（金）
 会場 神野ふ頭
 参加人数 3,000 人

大型クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」の三河港初寄港に際し、船内見学会や歓迎イベントを開催しました。入港イベントでは地元高校によるマーチング演奏、おもてなしイベントでは東三河観光物産展や新車整備センター見学会、そして出港イベントでは和太鼓の演奏や手筒花火の放揚を実施しました。



第 8 回穂の国・豊橋ハーフマラソン

主催 豊橋市、東三河陸上競技協会ほか
 開催日 平成 29 年 3 月 25 日（日）
 会場 豊橋公園ほか
 参加人数 4,566 人

豊橋公園を発着とした 21.0975 km のハーフマラソンを全 8 部門で開催しました。当日の運営には、東三河の高校生が参加し、また、給水物は地元企業や高齢者団体が中心となり選手に手渡すなど、新たな交流が生まれました。応援ゾーンでは、豊橋南高等学校応援部を始めとする応援団体が、ランナーを応援しました。





海フェスタ東三河

主催 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、
田原市、設楽町、東栄町、豊根村
開催日 平成28年7月16日(土)～31日(日)
会場 三河港を中心とした東三河8市町村
参加人数 1,463,013人

「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う」
海の日に、日本最大規模の海の祭典である海フェスタを、三河港を中心とした東三河8市町村において開催しました。

メイン会場となる豊橋では、各種記念式典や海の総合展を実施したほか、海上自衛隊のイージス艦「こんごう」や、海の貴婦人といわれる帆船「海王丸」など、多くの大型船の一般公開や体験航海を実施しました。



海フェスタまちなかウェルカムイベント

主催 豊橋市
開催日 平成28年7月17日(日)～18日(月)
会場 豊橋駅南口駅前広場
参加人数 3,500人

日本最大級の海の祭典「海フェスタ東三河」の開催に合わせ、豊橋・東三河の美味・美酒を販売する特産市やステージイベント等で豊橋にお越しの皆様をおもてなしました。20店舗が出店し、豊橋産エディブルフラワーを使用したスイーツなど、豊橋・東三河の美味しいグルメを来場者に味わっていただけました。



企画展「ミニ水族館」

主催 豊橋市自然史博物館
開催日 平成28年7月23日(土)～8月7日(日)
会場 豊橋市自然史博物館
参加人数 22,169人

近隣の海や藻場などに生息する「きれい」、「かわいい」、「めずらしい」、「きけん」魚介類を展示紹介。近海の生物のほか、黒潮に運ばれて来るカラフルな熱帯魚や、深海生物のオオグソクムシも展示しました。タッチングプールでは、小型のサメ類やヒトデ、ナマコ、ウニなどの生き物に実際に触れる体験も実施しました。



あいちトリエンナーレ 2016

主催 あいちトリエンナーレ実行委員会
 開催日 平成 28 年 8 月 11 日 (木) ~ 10 月 23 日 (日)
 会場 PLAT会場、水上ビル会場、豊橋駅前大通会場ほか
 参加人数 延べ 93,087 人

3 年に 1 度、愛知県で開催する国内最大級の国際的な現代アートの祭典の会場のひとつとして、国内外から多様なジャンルのアーティストが集い、「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」をテーマに、先端的な現代アートのまちなかでの展示を中心に舞台芸術、パフォーマンス作品などを展開しました。



NHK『新・BS日本のうた』公開録画

主催 NHK名古屋放送局・名古屋中央センター、豊橋市
 開催日 平成 29 年 2 月 23 日 (木)
 会場 アイプラザ豊橋
 参加人数 1,193 人
 放送 BSプレミアム
 平成 29 年 3 月 19 日 (日) 19:30~20:59

多彩な歌手たちの競演や豪華なステージで歌の魅力伝えるNHK「新・BS日本のうた」の公開録画をアイプラザ豊橋で実施しました。



NHK「ほっとイブニング in 豊橋」公開生放送

主催 NHK名古屋放送局、豊橋市
 開催日 平成 29 年 3 月 10 日 (金)
 会場 豊橋市公会堂
 参加人数 350 人
 放送 NHK総合テレビ
 平成 29 年 3 月 10 日 (金) 18:10~19:00

夕方の東海 3 県向けニュース番組「ほっとイブニング」を豊橋市公会堂から公開生放送しました。ゲストにプロフィギアスケーター鈴木明子さんを迎え、帆前掛け、豊橋うどん、豊橋筆などを紹介しました。



市民提案イベント



TBB3x3 (バスケットボール大会)



アマチュア無線局
交信証



沿線歴史探訪ハイキング

実施日	事業名称	団体名	実施場所
4月1日(金)～ 2月28日(火)	豊橋市制110周年記念アマチュア無線局 運営事業	豊橋市制110周年記念 局実行委員会	市内(移動運用)、神野 ふ頭、豊橋公園 など
4月2日(土)～ 2月18日(土) (全5回)	TBB3x3(バスケットボール大会)	TBB3x3運営事務 局	豊橋市総合体育館屋外、 豊橋駅南口駅前広場、豊 橋市石巻地区体育館
4月10日(日)	ええじゃないか豊橋・市電の日～沿線歴 史探訪ハイキング	とよはし市電を愛す る会	豊橋駅南口駅前広場、市 電沿線、赤岩口車庫広場
4月12日(火)	生産物並びに加工品・料理 品評会	豊橋温室園芸農業協 同組合	豊橋温室園芸農業協同 組合高洲事務所
4月16日(土)	「まちづくりと協同を考える」つどい	「平和・協同の学び」 実行委員会	豊橋市民文化会館
4月20日(水)	豊橋の未来を切り拓く!38万人総活躍の リーダーシップ～グローバル時代に活 躍する、日本人の心構え～講演会	公益社団法人豊橋青 年会議所	穂の国とよはし芸術劇 場プラット
4月30日(土)～ 11月30日(水)	豊橋の特産農作物を使った「豊橋ジュ ース」の開発と首都圏でのPR	株式会社イージェイ	豊橋駅南口駅前広場、EJ JUICE&SOUP 麴町店及 び渋谷店
5月1日(日)	のんほいよさこい「ええじゃないかまつ り」	のんほいよさこい実 行委員会	豊橋駅南口駅前広場、松 葉公園
5月1日(日)	FASHION NIGHT vol.5	FASHION NIGHT 実行委 員会	ホテルアークリッシュ 豊橋
5月1日(日)～ 3月31日(金)	東三河二十四節気イラスト制作事業	豊橋デザイン会議	インターネット上 (https://toyohashi24 .jimdo.com/)
5月1日(日)～3 月31日(金)	「おはなし110」を楽しむ会	まどか文庫	豊橋中央図書館、穂の国 とよはし芸術劇場プラ ット、旧生活家庭館など
5月5日(木)	吉田花祭りの復活(豊橋三大祭りの1つ)	吉田花祭り実行委員 会	白山比咩神社、広小路、 駅前大通



豊橋の未来を切り拓く！ 講演会



のんほいよさこい
「ええじゃないかまつり」



東三河二十四節気イラスト：小暑

内容	参加人数
アマチュア無線を通じ、全国のアマチュア無線家と交信するとともに、交信後は記念はがき（交信証）を送付するなど、市制 110 周年の紹介や市政情報等を発信しました。また、海フェスタ東三河や豊橋まつりなどのイベントで運用しました。	480 人、 交信局数 5,865 局
年代別で区切らないバスケットボール大会を実施し、幅広い年代で交流できる場を提供しました。また、コートに市制施行 110 年のロゴを設置することで、110 周年を広く伝えることができました。	500 人
市電沿線の名所・旧跡を巡るハイキングイベントを実施し、チェックポイントではスタッフが魅力発見パネルを持って案内しました。参加賞として記念絵ハガキとブラックサンダーを贈呈したほか、ゴール地点では地元グルメを提供し、豊橋の食文化を堪能してもらいました。	1,100 人
品評会を通じて多くの市民の方々に、つまもの野菜を実際に見てもらうことができ、それが豊橋産であることを知ってもらえました。さらに加工、調理されたものを食べることで、そのおいしさや効能などを実感してもらうこともできました。	318 人
「まちづくりと協同を考える」つどいとして、愛知大学地域政策学部 岩崎先生による講演会「農と地域おこし・まちづくり」を実施しました。その後、会場でディスカッションを行い、参加者がまちづくりについて考える機会を得られました。	47 人
元アップル・ジャパン社長の山元賢治氏による講演会を開催しました。山元賢治氏の人生経験や提唱する「覚悟」という考えを基に、多くの経験、スティーブ・ジョブズ氏との逸話、これからの時代に必要とされるリーダーシップやスキルについて講演しました。	412 人
どうしても発生してしまう規格外農産物（豊橋産）を使用し、豊橋の生産者さんの利益につながるジュース（EJ「ええじゃないか」ジュース）を製造し、海フェスタまちなかウェルカムイベントや首都圏の店舗で販売しました。	1,500 人
「大好き Toyohashi！」をテーマに、豊橋市内だけでなく県外からも踊り・ダンスチーム 24 団体が集まり、駅前と松葉公園で、素晴らしい演舞を披露しました。またよさこいの映画「君が躍る夏」にも出演した大森絢音さんをゲストとしてお招きしました。	1,000 人
中心市街地のアパレル店や、美容院、音楽家、DJ による、「fashion」「hair」「music」を融合させたファッションショーを開催しました。	350 人
豊橋の四季を表現した一連の 24 枚のイラスト「東三河二十四節気」シリーズを制作しました。夏至・冬至など、四季を表す言葉から連想される風物を取りあげ、一連のイラスト群として制作しました。制作したイラストはその節気の時期に合わせ、インターネットにより公開し、豊橋市の PR や他の 110 周年記念事業告知等、自由な利用を促しました。	カレンダー配 布 600 人 Facebook 264 いいね
110 周年を機に、新たにおはなしを楽しむ人が増え、おはなしを始める人が増え、おはなしを続けてきた人のさらなる意欲につながることを願い、おはなし会と講座（映画会等）を開催しました。	2,324 人
1944 年を最後に途絶えていた「吉田花祭り」を 72 年ぶりに復活させ、氏子など約 400 人が長さ約 2 m の勝花で飾ったお神輿や背負箱とともに広小路などを練り歩きました。また、白山比咩神社境内にあった銭座にちなみ 5 円玉を包んだ「開運銭」1,000 袋を沿道の観客に配り好評を博しました。	400 人



子どもたちの豊橋筆づくり



梅田川ウォーキング



豊橋米 LOVE プロジェクト 米袋

実施日	事業名称	団体名	実施場所
5月5日(木)、 7月18日(月)、 3月19日(日)	六条潟(西浜)探検と生きものカルタづくり	みなと塾	六条潟(西浜)、前芝校区市民館
①5月8日(日) ②7月30日(土) ~31日(日)	子どもが手掛けたオンリーワンの豊橋筆で、東海各地の方をおもてなし	茶道裏千家淡交会三河青年部(豊橋地域)	①高師緑地公園 ②ロワジュールホテル豊橋
5月22日(日) ~1月17日(火)	豊橋米LOVEプロジェクト”やるじゃん!とよはし米”	豊橋米LOVEプロジェクト	豊橋駅南口駅前広場、西郷小学校付近、ライフポートとよはしほか
①5月28日(土) ②11月3日(木)	梅田川を歩き、自然に親しもう	植田文化協会(古里を歩こう会)	①梅田川周辺 ②植田小学校体育館
5月29日(日) ~3月26日(日)	豊橋食材を組み合わせると美味しいフランクフルト発見、目指せ110の『Oh!』	三遠ネオフェニックス楽市	豊橋総合動植物公園、神野ふ頭、豊橋市総合体育館
6月1日(水)~ 3月31日(金)	祝 市制110周年・Bリーグ元年 体操で「とよはし」と「フェニックス」を健康的に盛り上げちゃおう。	株式会社フェニックス	豊橋市総合体育館、子ども未来館ここにこほか
6月7日(火)~ 3月21日(火) (全5回)	野菜のPR映像「食べりん!おいしい豊橋!」の制作とインターネット配信	豊橋ドットテレビ	各農園、豊橋温室園芸農業協同組合、トマト集出荷場、こども未来館ほか
6月12日(日) ~3月26日(日)	多米町滝ノ谷ビオトープの自然環境調査・観察会と報告会	三河生物同好会	多米町滝ノ谷ビオトープ、豊橋市民文化会館
6月12日(日) ~3月19日(日) (全4回)	博物館のまち豊橋が奏でる「スティールパン」恐竜と歴史と星の「ミュージアム・コンサート」	なっちゃんのスティールパンレッスン	二川宿本陣資料館、豊橋市自然史博物館、豊橋市視聴覚教育センター
6月25日(土)~ 26日(日)	ちょっとハイテクに学ぶ“遠州灘の生物多様性”フィールドワーク	Counterpart	表浜海岸 ほか
6月26日(日)	第1回豊橋市長杯サーフィン大会	表浜ビーチスクール豊橋	小松原海岸
6月26日(日)~ 9月25日(日) (全4回)	『He110!トヨハシアート・カンファレンス』~現代アートで豊橋まちなかの魅力をアップしよう!~	豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議	水上ビル



第1回豊橋市長杯サーフィン大会
(サーフィン教室)



遠州灘の生物多様性
フィールドワーク



野菜のPR映像

内容	参加人数
六条潟の干潟に生息する生き物を、潮干狩りをしながら探検する干潟探検を開催し、「六条潟生きものカルタ」を作成しました。カルタは、小中学校などへ配布するとともに、カルタ大会を行いました。参加者に、干潟の現状と、アサリと干潟の関係性を理解してもらうことができました。	230人
子どもたちが豊橋らしい絵柄で色彩した豊橋筆と豊橋の好きな物を書いたカードを裏千家「東海ブロック研修会」参加者にプレゼントしました。子どもたちが豊橋筆を作り豊橋地域以外の方にプレゼントをすることを通じ、自分たちの住んでいる豊橋について考えてもらうことができました。	250人
豊橋の米専門店有志が、米穀店だからわかる全国へ発信できるコメの作り方をやる気がある若年生産者に指導し、豊橋米を生産しました。また、「やるじゃん! とよはし米」のオリジナル米袋やリーフレットを作成し、まちなかマルシェなどのイベントにおける販売に活用しました。	3,000人
梅田川周辺をウォーキングすることにより、自然に親しみながら梅田川周辺の水害に対する防災意識を養い、町民同士の親睦を図りました。また、植田文化協会40周年&豊橋市制110周年を祝う記念式典を開くとともに、記念誌を発行し植田町の文化史を残しました。	130人
豊橋百農人の一員による田原パークと名古屋コーチンをベースに、豊橋の農産物を組み合わせる練りこんだ新しいフランクフルトを開発し、善意フェスティバルや海フェスタ東三河、三遠ネオフェニックス公式戦で振る舞いました。	52,000人
市制110周年とBリーグ元年を記念し、体操金メダリスト監修のフェニックス体操を通じて市民の健康づくりに寄与するとともに、三遠ネオフェニックスと市制110周年を多くの人に知ってもらいました。	2,025人
豊橋で生産されている農産物をPRするために、リポーターによる農家での取材や、おいしく食べるための料理教室を番組形式で映像制作し、インターネットのYouTubeと豊橋ドットテレビを使って紹介しました。	視聴人数 1,549人 (3/24現在)
滝ノ谷ビオトープ内で市民を対象とした自然観察会を3回開催しました。また、ビオトープの自然環境調査を行い、その調査結果をまとめた報告書を作成し、報告会で発表しました。	79人
ドラム缶でできた楽器「スティールパン」による「ミュージアム・コンサート」を二川にある三つの博物館と連携し開催しました。	755人
豊橋市の「顔」の1つ遠州灘を舞台に自然環境について学ぶフィールドワークを開催しました。学生スタッフが中心となり、スマートフォンアプリを使用しフィールドデータを取得したほか、遠州灘に生息する主な動植物について調べたり、漂着ゴミを回収する海岸清掃を実施しました。	23人
日本でも有数のサーフィンスポットである表浜海岸でサーフィン大会を開催することで、表浜の魅力を全国に伝えることができました。また、同時に子どもを対象に地元プロサーファーによるサーフィン教室やボディボード教室も開催し、終了後は参加者全員でビーチクリーン活動を行いました。	1,000人
「あいちトリエンナーレ」の開催前から開催期間中に、豊橋会場となる水上ビルに「みずのうエビジターセンター」という案内所兼フリースペースを設置して、トリエンナーレのキュレーター陣、参加アーティストを中心としたトークイベントを開催しました。	76人



アンファン・シ
ェリ・サロン



門限ズの夏休みワークショップ！



「ひとすじの糸」

実施日	事業名称	団体名	実施場所
4月～11月	耕作放棄地で豊橋の味：地豆を子供たちと育てよう	豊橋新卒農業部	畑（神野新田町字ロノ割）
7月9日（土）	Super Live'16 とよはし 110周年記念ジャズライブ	Super Swing Jazz Orchestra	WAC アグリカフェ（南瓦町）
7月9日（土）	たまごママ・パパのための「アンファン・シェリ・サロン」	特定非営利活動法人 ビリーブ	豊橋市保健所・保健センターほいっふ
7月12日（火）～ 9月19日（月）	演劇ワークショップ「ふるさと豊橋を築いた先駆者たち」・市民劇「ひとすじの糸」群馬県前橋市公演	ひとすじの会	前田南町公民館、Coty（花園町）、群馬県前橋市群馬会館ホール
7月15日（金）～ 8月11日（木） （全3回）	門限ズの夏休みワークショップ！	吉野 さつき	西光寺、穂の国とよはし芸術劇場プラット ほか
①7月22日（金）～ 24日（日） ②8月22日（火）、 29日（火）、 12月23日（金）	被災地の高校生が「自分たちが住む町を！」と立ち上がる。高校生自らが動く、市民協働のまちづくり。震災が生んだ奇跡の地方創生を同世代交流で豊橋へ。	多米校区地域教育力向上委員会	①宮城県志津川自然の家 ②HANACOYA（花園町）
7月30日（土）	「灯籠で飾ろう二川宿」 創作灯籠（陶磁器製）	二川・大岩まちづくり協議会	旧東海道二川宿町並み
①7月30日（土）～ 31日（日） ②10月8日（土）	豊川スタンドアップパドルボードクルージング体験	豊橋スタンドアップパドルボード協会	①豊川左岸（牛川町） ②豊川左岸、コスタリカシティガーデン（今橋町）
8月5日（金）	せかい雑巾楽会 in とよはし	特定非営利活動法人 NPO まんま	旧生活家庭館、アイプラザ豊橋
8月6日（土）～ 24日（水）	豊橋 110周年！110人！写真展（豊橋を築いた人々）	合同会社 花広	開発ビル1階イベントスペース
8月7日（日）	日本の伝統文化 将棋で 古き良き 豊橋のまちづくり復活を	豊橋ふれあい子ども将棋教室	豊橋市公会堂
8月7日（日）、 27日（土）、 10月15日（土）	He110 豊橋 西浜踊り隊	西浜町自治会	前芝中学校、西浜町公民館前駐車場 ほか



夏休み 東北高校生交流ツアー

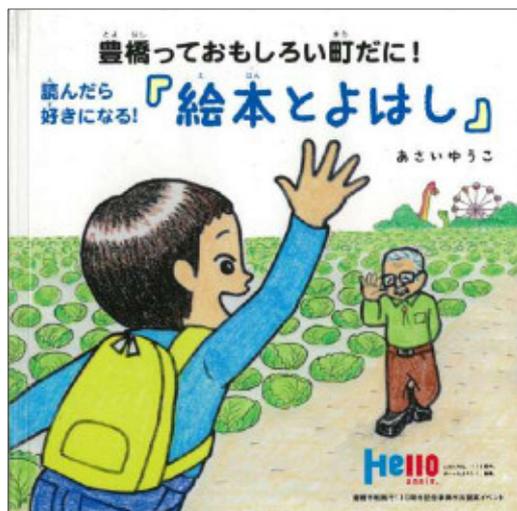


内藤國雄氏
講演会



He110 豊橋 西浜踊り隊

内容	参加人数
子どもたちに農業の面白さ、大切さを伝えるために、耕作放棄地を活用して三河地方で育てられている地豆(落花生)を子どもたちと栽培しました。一般にはあまり流通していない生の地豆を収穫して塩ゆでを作り、その味を伝承しました。	151 人
人にやさしいまちづくりを推進する豊橋市として健常者と障害者の差別のない豊橋らしい事業として、日本一と言われているアマチュアジャズオーケストラ'Mondaynight Jazz Orchestra'を招き、障害者の方々を対象にジャズライブを行いました。さらに豊橋の魅力をアピールする曲として'Hello とよはし'という歌を作詞作曲し、演奏しました。	50 人
お腹の赤ちゃんとの仲良くなるための胎児教育をテーマとし、胎教講師による講義や、先輩ママ・パパとの交流等を実施しました。	15 人
先駆者の人生とその生きざまを演劇として上演するための市民向けワークショップや、参加者が制作した朗読劇を発表会で披露しました。また、群馬県前橋市のシルクサミットにおいて市民劇「ひとすじの糸」の記録映像を上映公開しました。	128 人
とってユニークなクロスジャンルバンド「門限ズ」のメンバーといっしょに、音や言葉をテーマに豊橋の面白さを再発見するため、茶話会、お散歩、お寺で音楽、劇場でダンスや演劇、遠足ワークショップを実施しました。	31 人
東北沿岸部の高校生と豊橋の高校生が南三陸の現地で交流し、今の自分たちの思いを語り合う「東北高校生交流ツアー」を実施しました。また、豊橋のいろいろな高校の生徒が集まり、多様な価値観の中で自分の思いを語り、仲間のお話を聞きあう「意見交換会」も実施しました。	33 人
江戸時代の旧東海道二川宿の面影が残る二川の町並み約 1.5 km の両側を、地域の子どもたちや市民が作ったマイ灯籠、創作灯籠など約 3,000 個の灯籠で幻想的にライトアップしました。	18,000 人
7 月にプロサーファーによる SUP (スタンドアップパドルボード) スクールとクルージング体験行いました。また 10 月には、日本サップヨガ協会会長 田中律子さんによる SUP ヨガ体験と講演会を実施しました。	88 人
乳幼児から大人まで参加する床遊びや雑巾がけリレー等の「雑巾あそび」や、今井寿美枝氏による講演会「雑巾がけて体感を育てる」などを実施し、雑巾がけによる健康づくりについて学びました。	149 人
豊橋市の 110 周年にあたり、「歴史は人が作る」をポイントに置き、豊橋市にゆかりのある人物 110 人を取り上げ、顔写真とともに簡単な略歴で紹介する写真展を開催しました。	1,000 人
内藤國雄元プロ棋士による講演会を実施しました。参加者は、講演を通じて地域の交流や文化・自然を守る生き方について考える機会を得ることができました。	140 人
He110 のロゴマーク入り法被を身にまとい、トヨッキョウうちわを持って、町内のお祭りである「西浜町宵祭り」での盆踊りや「前芝校区ふれあい夏まつり」、「豊橋まつり総踊り」に参加することで、市制 110 周年を祝い、盛り上げました。	197 人



絵本とよはし



TOYOHASHI
フォークジ
ャンボリー
2016



全日本マ
スターズ
ハンドボ
ール大会

実施日	事業名称	団体名	実施場所
8月6日(土) (出版日)	読んだら好きになる♡ 絵本とよはし とよはしっておもしろい町だに!	浅井 悠子	販売場所(本の豊川堂各 店、精文館書店本店ほ か)
8月11日(木)～ 20日(土)、 10月29日(土)、 30日(日)	表浜 BLUE WALK 2016 - つづく足跡つながる想い -	虹のとびら	表浜海岸 ほか
8月19日(金)～ 21日(日)	平成28年度 全日本マスターズハンドボ ール大会 豊橋大会開催	豊橋ハンドボール協 会	豊橋市民球技場、豊橋市 総合体育館 ほか
8月21日(日)	TOYOHASHI フォークジャンボリー 2016	エキサイティング・シ ニア・カーニバル実行 委員会	ロワジュールホテル豊橋
8月27日(土)	～リレートーク～ とよはしとぼくとわたしの未来予想図	とよはし女性フォー ラム	こども未来館ここにこ
8月27日(土)、 28日(日)	サマーキッズフェスティバル	サマーキッズフェス ティバル実行委員会	豊橋市交通児童館
8月27日(土)～ 12月3日(土) (全5回)	豊橋110周年 動画セミナー	豊橋110周年動画制作 グループ	豊橋市役所周辺、アヴァ クナ株式会社、有楽製菓 株式会社、普門寺
8月28日(日)	手しごと市 in Toyohashi	手しごと市 in Toyohashi 実行委員会	こども未来館ここにこ
8月28日(日)、 10月16日(日)、 11月20日(日)、 3月19日(日)	とよはし110祝祭マーチングバンド 設立	つつじが丘ジュニア マーチングバンド	広小路通り、豊橋公園、 豊橋駅ペDESTリアン デッキ ほか
9月3日(土)	バモスジャパン	株式会社セブンスワ ンダー	豊橋駅南口駅前広場
9月4日(日)	アウトドア日和	アウトドア日和実行 委員会	豊橋公園
9月4日(日)	特定非営利活動法人三河三座設立10周年 記念 第10回吉田城新能と吉田文楽公演	特定非営利活動法人 三河三座	豊橋公園



手しごと市 in Toyohashi



～リレートーク～
とよはしとぼくと
わたしの未来予想図



バモスジャパン

内容	参加人数
豊橋に住んで間もない人や子育て世代の人、また市外の人などにも、豊橋に愛着と興味を持ってもらえるように、豊橋の魅力を親しみやすい絵本を作成しました。	販売冊数 247冊
8月に東細谷町から伊良湖岬の海岸線約50kmを10日間かけて歩きながら清掃を行い、夜間は宿泊施設で環境に関するワークショップなどを実施しました。また、10月29、30日の2日間で伊古部海岸を中心に海岸清掃を行いました。海岸清掃やワークショップ等を通じて、参加者の環境に対する意識の向上を図ることができました。	350人
平成28年度全日本マスターズハンドボール大会を豊橋で開催しました。4つのカテゴリーを合同開催する最後の記念大会に、全国から史上最多となる参加者が集結し大会を盛り上げました。	1,153人
昭和を代表するフォークソングや昭和の歌謡曲などをテーマに、豊橋・東三河を中心に演奏活動をしているアマチュア音楽家を集めてジャンボリー形式のコンサートを実施しました。	466人
「とよはしとぼくとわたしの未来予想図」をテーマに絵画・イラストを市内在住・在学の小・中学生などから募集し、218作品が寄せられました。当日は、受賞作品を展示し、表彰式を行った後、受賞者が作品の前で未来への思いを語りました。また、入選者の作品を掲載したクリアファイルを作成し、配布しました。	130人
子どもだけでなく親子で楽しめるスタンプラリー、車いす体験、段ボール迷路、地域団体の協力による絵本の読み聞かせ、消防署の協力による水消火器体験、障害者体験を実施しました。土曜日の夕方限定で、ナイト児童館も開催しました。	1,265人
参加者と豊橋を代表する企業等を訪問し、スマートフォンやタブレットを使用してイベントや工場の様子を撮影したあと、動画制作に関する講義を実施する「動画セミナー」を開催しました。動画の撮影・編集方法や撮影時のポイントの説明や、撮影した動画へのアドバイスをを行いました。	34人
来場者が「手しごと」を体験できる様々なワークショップや作品の展示・販売を行うことで、実際にものづくりの楽しさや大変さ、豊橋市を中心とした東三河の手しごと作家の活動などを来場者に知ってもらうことができました。	3,500人
小学生、中学生、高校生から大人まで100名近くが参加し「TOYOHASHI110(One-Ten)祝祭マーチングバンド」を結成しました。「豊橋まつり」や「とよはしキラキラ☆イルミネーション2016」点灯式などで演奏を行うことにより、市制110周年を祝うとともに、イベントを盛り上げました。	演奏・演技者 96人
ブラジルを代表する料理を楽しみながら参加者間が交流することで、ブラジル文化への理解促進を図ることができました。	3,500人
豊橋公園でアウトドアのアクティビティを中心としたイベントを開催しました。16のアクティビティ、33の出店ブースを用意し、多くの家族が来場しました。	2,000人
毎年恒例の吉田城本丸広場での薪(たきぎ)能の第10回目を記念して、能楽の「羽衣」と豊橋市の無形民俗文化財に指定されている「飽海人形浄瑠璃」の公演を行いました。能楽と文楽の競演は珍しく、伝統芸の宝庫ともいえる豊橋市ならではの公演となりました。	450人



神輿フェスティバル



豊橋クエスト



連続ワークショップ

「まちの魅力をオープンデータで発信！」

実施日	事業名称	団体名	実施場所
9月10日(土)	市制110周年記念 神輿フェスティバル	豊橋神輿連合会	豊橋公園
9月10日(土)、 11月12日(土)、 1月21日(土)	連続ワークショップ「まちの魅力をオープンデータで発信！」	うずらインキュベータ	こども未来館ここにこ、 大清水まなび交流館 ほか
9月11日(日)	めざせ！生涯現役！～物忘れ・認知症の予防法～ 講演会	豊橋薬業生活習慣病アドバイザーの会	豊橋市総合福祉センターあイトピア
9月17日(土)	東三河の文化を語る会 第20回記念講演会	東三河の文化を語る会	穂の国とよはし芸術劇場プラット
9月17日(土)、 10月16日(日)、 2月11日(土)	Pepperによるご当地クイズと豊橋のイベントと企業紹介で豊橋をアピール！	あいちICT推進協会	豊橋市公会堂、こども未来館ここにこ
9月18日(日)	和太鼓が伝える郷土の文化 古今四季めぐり	豊橋太鼓連合会	ライフポートとよはし
9月21日(水)、 11月18日(金)、 11月23日(水)	八町校区文化財保護活動	八町文化協会	豊城地区市民館 ほか
9月25日(日)、 11月6日(日)	謎解き冒険ウォークラリー 豊橋クエスト ～110回目のありがとう～	ハピファミコミュニケーション	高師緑地公園、豊橋公園
9月29日(木)～ 10月24日(月)、 1月9日(月)	障害者の視点に立った防災をテーマとした活動「コミュニケーション支援を考える防災のつどい」及び「避難所絵カード等普及事業」	豊橋手話通訳学習者の会	豊橋市総合福祉センターあイトピア、豊橋創造大学
10月1日(土)	歩の国豊橋、110年の宝探し	TASUKI	こども未来館ここにこ、 豊橋駅周辺、サイエンス・クリエイト、二川宿 ほか
10月1日(土)	市制110周年記念特別版 百働人まつり	豊橋百働人	豊橋駅南口駅前広場
10月1日(土)	とよはし110周年記念 第47回福祉まつり	社会福祉法人豊橋市福祉事業会	豊橋市福祉事業会内一帯



八町校区文化財マップ



避難所絵カード普及事業



百農人まつり



第 47 回福祉まつり

内容	参加人数
豊橋神輿連合会と岡崎神輿連合会の2基の神輿で渡御をして、市制110周年を祝いました。また、キッズダンス、津軽三味線や和太鼓の演奏、江戸消防梯子乗りなど、協力団体がパフォーマンスを披露しました。	200人
街の魅力の世界に向けて発信する住民参加型のワークショップを3か所で開催しました。豊橋鉄道渥美線の沿線地域をガイドと一緒に歩き、歴史や文化、グルメを楽しんだ後、インターネットサイト「ウィキペディア」や「オープンストリートマップ」に情報を掲載し、世界に発信しました。	95人
中高年層を対象に「めざせ！生涯現役」を目標に、認知症などの予防法について学ぶ講演会を開催しました。	194人
東三河で活動する各文化団体の活動内容や、これからの文化活動の在り方について、パネルディスカッションを実施しました。また、第2部としてギターと二胡の演奏を行い、音楽を通じた心のつながりを参加者が共有する機会となりました。	73人
多くの人が訪れるイベント会場にPepperが出勤し、豊橋に関するご当地クイズの出題や、ダンスを披露しました。豊橋にちなんだクイズの景品や、Pepperのタブレットを使った映像紹介を通じて、イベント参加者に豊橋の魅力をより知ってもらうことができました。	630人
「四季」をテーマに豊橋の伝統文化を映像と和太鼓で伝えるステージを開催しました。参加団体が和太鼓の演奏を通して共有を図り、豊橋の伝統・文化（祭礼等）を豊橋内外に広く発信することができました。	818人
文化財に関する講演会の実施や、八町校区に点在する文化財や史跡等のマップを作成し、校区全世帯に配布しました。参加者は文化財、史跡、公共施設への取材により、地域への理解を深めることができました。また、マップは小学校の郷土学習にも教材として利用され、大変好評でした。	190人
RPGゲームの世界に入りこんだような設定の子ども向けウォークラリーイベントを開催しました。参加者は、公園内に隠されたチェックポイントを探し、全てのミッションのクリアを目指しました。	340人
障害者の視点に立った防災活動として「聴覚障害者への理解」と「コミュニケーションの大切さ」を広く市民の皆様へ理解して頂くために、「聴覚障害者と防災支援の取り組み」講演会や聴覚障害者自らが作成した映画の上映会などを開催しました。また、平時でも役立つ「避難所絵カード」、「コミュニケーション支援ボード」のワークショップなどを実施しました。	290人
豊橋の歴史や企業にまつわる問題を配布し、隠された答えを、頭と足を使いながら探し、問題を解いていくイベントを実施しました。また、参加中に撮影した「豊橋の宝」と言える写真のSNSでの賛同数も得点となり、問題の正答数と合わせて競い合いました。イベントを通じて、110年の豊橋を子どもたちにより深く知ってもらえました。	89人
「農業王国・豊橋」を広く市民にPRするためのイベント「百農人まつり」の市制110周年特別版を10月1日に豊橋駅南口駅前広場で開催しました。「収穫祭」「橋産地消」をテーマに、三河物産展、各農人主催のステージイベント、新商品「百農人ビール」の販売を行いました。	4,500人
市制110周年を記念して、毎年行われている福祉まつりに総踊りや餅投げを組み込むなど、イベントの規模を拡大して実施しました。来場者が、豊橋市福祉事業会を利用する子ども、高齢者、障害者とふれあうことで、来場者の福祉に対する理解を深めるよい機会となりました。	1,900人



筆どうぶつえん

チェーンソーアート
「トヨッキー」



愛知大学公館見学会

実施日	事業名称	団体名	実施場所
10月1日(土)～ 2日(日)	筆どうぶつえん事業	豊橋筆からつながる 会	こども未来館ここにこ
10月8日(土) ～10日(月)	愛知大学公館見学会及び講演会	学校法人愛知大学	愛知大学
10月8日(土)	豊橋木材商工協同組合 110周年 木の日 PR事業「見て、触れて、感じて」	豊橋木材商工協同組 合	こども未来館ここにこ
10月9日(日)、 11月13日(日)	本っていいじゃん! in 豊橋 絵本が育 む親子の絆	本っていいじゃん! in 豊橋実行委員会	豊橋市民センター
10月10日(月)	秋祭 スポーツ鬼ごっこ大会	豊橋スポーツ鬼ごっ こサークル	安久美神戸神明社
10月15日(土)	こどもも まちじゅうええじゃないか!	まちじゅうええじゃ ないか豊橋 110周年企 画室	豊橋駅南口駅前広場、広 小路、こども未来館ここ にこ、松葉公園
10月15日(土) ～3月31日(金)	豊橋手筒花火王国 呼称:Toyohashi Tezutsu Land(略称:TTL)	手筒花火を広める会	トライアルビレッジ(広 小路一丁目)、まるごと にっぽん(浅草)ほか
10月15日(土) ～11月8日(火)	季節誌しずく別冊 百肖～ひやくしょう ～写真展	アイスタイルデザイ ン	サーラプラザ豊橋 ほ か
10月17日(月)、 11月14日(月)	出張そば or うどん打ち教室 for Next Generation	豊橋麺類組合	植田小学校、豊橋創造大 学
10月22日(土) ～23日(日)	おもしろいがいっぱい!モノづくりフェ スティバル in とよはし	木好きらく会	豊橋公園
10月29日(土) ～30日(日)	吉田の宿 寺町再発見めぐり	花園商店街振興組合	花園町及び新大手発展 会周辺地域
10月29日(土) ～30日(日)	ええじゃないか豊橋 530 発信隊 in TOKYO	豊橋商工会議所青年 部	渋谷スクランブル交差 点付近(東京都渋谷区宇 田川町)



本っていいじゃん！ in 豊橋



モノづくりフェスティバル in とよはし

出張そば or うどん打ち教室 for Next Generation

内容	参加人数
「豊橋筆のことをよく知ってもらいたい。筆を通じて、動物を大切に思ってもらいたい」という思いから、動物の毛と筆の展示や筆づくり体験ワークショップなどを行うイベントを開催しました。SNSでコミュニティを立ち上げ、ブログと併せて定期的に豊橋の職人や筆についての情報を発信しました。	1,097人
愛知大学公館の存在意義や価値を広く社会に価値を知ってもらうことを目的に、公館見学会と講演会を実施しました。講演会は、「愛知大学公館100年物語」と題し、愛知大学名誉教授の藤田佳久氏と二川ヘリテージセンター代表 泉田英雄氏を講師として実施しました。	1,243人
森林の大切さや木材の特徴を見てもらうパネル展のほか、親子木工工作、間伐丸太早切大会、チェーンソーアート実演など、木材について「見て、触れて、感じて」もらえるイベントを実施しました。	200人
豊橋市制110年を振り返るため、明治時代の教科書から現在の郷土出版物までを展示したほか、豊橋の作家による豊橋妖怪百物語の読み聞かせや、著名な絵本作家による講演会などを実施しました。	390人
鬼祭祭祥の地、安久美神戸神社で、未就学児から大人まで幅広い世代が楽しく参加できるスポーツ鬼ごっこ大会を開催しました。	156人
白塗り、フェイスペイント・シールの「お祭り顔」で各会場を回り、「ええじゃないか」の合言葉でスタンプを集める、「ええじゃないかウォークラリー」を開催しました。また、ええじゃないかPR事業としてポスター50枚をまちなかに掲示し、チラシ43,000枚を市内の全小中学生の他、保育園、高校などに配布しました。	1,200人 (景品配布800人)
手筒花火を揚げる仮想体験ができる「VR手筒花火」を作成し、浅草「まるごとにつぼん」や羽田空港に出展しました。また、東海テレビ「福田彩乃のハツモノ」に出演したほか、随時広小路のトライアルビレッジ内にて展示を行いました。	50人
農業生産者の方101名の写真の展示と「自家製」をメインとした地産地消の料理教室を行う「百肖〜ひゃくしょう〜写真展」を開催しました。他にも、地域の農産物や加工品を生産者が自ら販売する「しずく朝市」を開催し、地元飲食店協力のもと地域食材を使った料理教室も実施しました。	600人
豊橋市立植田小学校と豊橋創造大学でそば打ち教室を行いました。そばに対する親しみを持っていただけたのと同時に、地元講師とのつながりやそばの文化的背景の理解も深めることができました。	36人
モノ作りの楽しさ面白さ、木の温もりを子どもたちに伝え、モノ作りを通じ、三世代交流を行うイベントを開催しました。会場には、愛：地球博で学んだ竹ドームを10基建て、モノづくりのおもしろさを体験してもらうとともに、一般参加のクラフト店65店舗が、手づくりの作品を並べました。	15,000人
花園、魚町界隈に点在する由緒ある8軒のお寺を巡り、朱印スタンプを集めてまわるウォークラリーを開催しました。お寺の歴史や、寺町として発展してきた商店街の歴史などを参加者に紹介しました。	2,000人
ハロウィンで賑わう渋谷区で、ええじゃないかの和装と白塗りをし、伊勢市の方々などとともに「ええじゃないか豊橋」と「530運動」の印刷をしたオリジナルゴミ袋を配布し、「ええじゃないか豊橋」のPR活動を行いました。また、翌日早朝に渋谷駅周辺で行った530運動では、清掃ボランティアや渋谷区役所の方々と共に来年に向けて良い交流を図れました。	49人



第7回ジャパン・ファイアー・ファイターズ・スピリッツ



LOVE PORT TOWN
オクトーバーフェスト



穂乃國 和 具

実施日	事業名称	団体名	実施場所
10月30日(日)	とよはし歩行者天国 de 『とよはしフラワーウォーク』	とよはしフラワーウォーク実行委員会	広小路通り
11月6日(日)	第7回ジャパン・ファイアー・ファイターズ・スピリッツ (JFFS)	JFFS 実行委員会	シーパレスリゾートホテル
11月6日(日)	LOVE PORT TOWN オクトーバーフェスト	LOVE PORT TOWN 実行委員会	豊橋駅南口駅前広場
①11月6日(日) ②平成29年3月(発行日)	豊橋カレーうどん PR 漫画冊子の発刊事業	豊橋まんが家まつり	①豊橋市民センター ②配布場所(豊橋カレーうどん提供店、まるごとにつぼん(浅草)など)
11月10日(木)	穂乃國 和 具 (ほのくに わ そなへる)	豊橋雅楽愛好者衆「千里」	穂の国とよはし芸術劇場プラット
11月13日(日)	とよはし市制110周年をジャズ演奏で祝う市民の集い	豊橋マンデーナイトジャズオーケストラ	ライフポートとよはし
11月13日(日)～3月25日(土)(全10回)	親と子がともに学ぶ場の創出により目指す格差社会の打破、機会の増大	アップトゥーミー	アイブラザ豊橋
11月19日(土)	ちくわプロジェクト in 花園	花園ぶらす	花園商店街、豊橋別院
11月19日(土)	生活習慣病予防ウォーキング講演会～魅力の街での健康づくりと出会い～	穂の国 健歩会	豊橋市総合福祉センターあいトピア、桜ヶ丘公園、市電沿線
11月20日(日)	豊橋日独協会創立25周年記念行事「ドイツ無声映画上映会」	豊橋日独協会	穂の国とよはし芸術劇場プラット
11月26日(土)	スマイルフェスタ (MRC・パレットボウル in 豊橋)	三菱レイヨン株式会社 豊橋事業所	ホテルシーパレスリゾート、豊橋市総合体育館
11月26日(土)	IoT × 農業	中部アイティ協同組合	豊橋サイエンスコア、IGH(太陽光利用型植物工場)



豊橋マンデーンナイト
ジャズオーケストラ



ちくわプ
ロジェク
ト in 花園



スマイルフェスタ (MRC・パレットボウル in 豊橋)

内容	参加人数
まちなか歩行者天国の会場で、豊橋の花を持ってまちを散策する「とよはしフラワーウォーク」を開催しました。1,100名へミニ花束とまちなかスタンプラリーマップを配布し、参加者は、花束を持ってマップ掲載店を巡りました。また、豊橋の花を使用した無料アレンジ教室も実施しました。	1,230人
消火活動の基本であるホースカー走、階段登り、機材引揚げ、放水、要救助者搬送の5つのタスクをフル装備の消防士が3人一組で行うタイムレースを開催しました。今回は、キッズ消防士が防火衣の着脱や放水、人形の搬送などを行う競技も実施しました。	50人
ドイツのビール祭りオクトーバーフェストにちなんで、ドイツにゆかりのあるビールや食べ物の販売などを行うイベントを実施しました。	1,000人
豊橋カレーうどんをPRするための漫画冊子「まんがで愛でる豊橋カレーうどん」を1,000部発行し、配布しました。掲載漫画は、主に市民から募集するとともに、豊橋市民センターで開催した4コマ漫画教室の優秀作品も掲載しました。豊橋カレーうどんを幅広い世代・地域の人に深く知ってもらうことができました。	応募13人、 まんが教室25人
「書道」、「華道」、「茶道」、「箏道」、「雅楽」という5つの日本の伝統文化を、エキシビションとしてステージ上で解説を交えてわかりやすく紹介しました。また、和文化に興味を持ち、身近に感じてもらえるよう、体験型のワークショップも同時開催しました。	250人
「ビッグバンドジャズによる豊橋プロモーション」のために演奏会を記録し、110周年にふさわしいように編集しYouTubeで配信しました。これにより豊橋市民以外の方にも豊橋の良さを発信することができました。	700人
シングルマザーとその子ども向けの就労支援・学習支援のイベントを行い、スキル・資格・経験を伸ばす機会が少ない地方における女性の仕事創出及び就労率向上を目指しました。子どもと親が共に勉強してもらう会を定期的に開催し、子どもの学習支援と、親の資格取得などの勉強を同じ場所で行いました。	12人
参加者が、すり身をつけるところからちくわづくりを体験し、110人が一斉にちくわを焼くイベントを開催しました。他にも、ちくわ輪投げや豆ちくわのつかみ取りなど、ちくわに関する企画を行いました。	202人
中高年層を中心に、生活習慣病の改善や予防、健康づくりに効果的な「ウォーキングと軽い体操」の方法を学ぶ講演会を開催しました。また、健康づくりとあわせて地域における出会いや交流を目的として、桜ヶ丘公園や市電沿線のウォーキングなどを行いました。	106人
ドイツ無声映画祭として1926年に制作された「メトロポリス」を上映しました。来場者は、活弁士澤登翠さんの抑揚ある弁舌と「楽団カロード・モノトーン」の伴奏に深い感銘を受けました。	600人
豊橋市総合体育館にて、ビーチボールバレー、ドッジボール大会のスポーツイベントやステージ、出展ブースを集めたイベントを行いました。また花火大会の手筒花火は参加した多くの方々に驚きと感動を与えることができました。	3,000人
農業にITを活用するスマート農業分野においてビジネスのヒントとなるよう、6人の有識者による講演会を開催しました。また、太陽光利用型植物工場(IGH)見学やブース展示も併せて実施しました。農業に対するIT活用の具体的な事例やメリットを参加者と共有することができました。	134人



演劇公演「死に顔ピース」



豊橋帆前掛けミュージアム



福よせ雛

実施日	事業名称	団体名	実施場所
12月11日(日)	マウンテンバイク4時間耐久レース in 下条	カンントリーモーニング	豊川河川敷(下条西町)
12月18日(日)	演劇公演「死に顔ピース」	劇団豊橋演劇塾	穂の国とよはし芸術劇場プラット
12月23日(金)	TOP FLOOR 2016	TOP FLOOR 実行委員会	豊橋市公会堂
1月7日(土)	第15回とよはしまちなかスロータウン映画祭オープニングイベント 樹木希林 新春トーク&ライブ スローな映画と人生	とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会	穂の国とよはし芸術劇場プラット
①1月10日(火)~20日(金) ②1月15日(日)	市役所まるっと豊橋帆前掛けミュージアム	ニッポンの前掛け展実行委員会	①豊橋市役所市民ギャラリー ②芳賀織布工場、完和萬染
1月28日(土)~3月12日(日)	福よせ雛(ひなまつり)	NPO法人二川宿	商家「駒屋」
1月15日(日)	豊橋市制110周年記念公演 新春 天狗連名人会?	豊橋落語天狗連	穂の国とよはし芸術劇場プラット
1月22日(日)	豊橋市民と三遠南信地区大男声合唱の集い	男声合唱団 ふんけんクラブ	穂の国とよはし芸術劇場プラット
1月22日(日)、2月26日(日)、3月5日(日)	「岩屋緑地」サクラ広場再生事業の第1歩(豊橋三大 桜の名所)	岩屋緑地に親しむ会	岩屋緑地 ほか
2月11日(土)	しゃべりば@とよはし~外国人高校生居場所プロジェクト~	特定非営利活動法人フロンティアとよはし	豊橋市民センター
2月11日(土)~12日(日)	子どもたちの創造性を引き出し伸ばすデジタルメディア活用ワークショップとシンポジウム	特定非営利活動法人らるご子ども教育研究所	こども未来館ここにこ
2月17日(金)	王琳娜(おうりんな)の今日からはじめる!日中友好「観光おもてなし中国語」と「豊橋名産&観光ガイド」冊子の無料配布	デジタルバンクジャパン株式会社	豊橋商工会議所



新春 天狗連名人会？



しゃべりば@とよはし



デジタルメディア活用
ワークショップ

内容	参加人数
1人から3人までのチーム対抗で、マウンテンバイクで4時間走り抜き、周回数を競いました。オリジナルのゼッケンプレートや参加賞の作成、トヨッキーの参加により110周年をアピールすることができました。	180人
劇団豊橋演劇塾による演劇公演「死に顔ピース」（脚本：古城 十忍、演出：有村 星香）を実施しました。	397人
地元出身のHIPHOPアーティストを中心に様々なゲストを招き、HIPHOPフェスティバルを開催しました。県内外からの参加者や来場者もあり、豊橋のダンス文化を広く周知することができました。	300人
樹木希林さん主演の「あん」「神宮希林わたしの神様」の2作品を上映する映画祭を実施し、上映後にご本人をお迎えしてのトークショーを行いました。	655人
①豊橋市役所をミュージアムに見立て、イベント期間中に職員が多様な豊橋帆前掛けを実際に着用することで、その親しみやすさを市民の皆さんにPRしたほか、市役所東館1階ギャラリーで豊橋帆前掛けの展示会を行いました。 ②豊橋市の繊維産業を支える会社の工場見学ツアーと自分で帆前掛けを作るワークショップを同時に開催し、市民の皆さんに帆前掛けへの理解を深めてもらうことができました。	① - ② 21人
役目を終えたお雛様を集め、お雛様を使って日常生活の一場面や二川宿での様子を再現し、商家「駒屋」の屋内外に展示しました。ユーモアあふれるお雛様の数々が大変好評でした。	24,452人
豊橋にまつわる歴史、文化、施設などを題材とした新作落語「ええじゃないか始末記」、「手筒花火は豊橋の華」、「豊橋カレーうどん誕生秘話」、「のんほいパークは良いところ」などを披露しました。	250人
男声合唱団ふんけんクラブと公募の豊橋市民が集まり、飯田、浜松の男声合唱団と演奏会を開催しました。豊橋初の約100人の男達による迫力の大男声合唱を披露しました。	709人
岩屋緑地の桜を再生するため、公園緑地課と連携を図りながら、緑地南面の一部を伐採し、新たに桜を植樹する植樹祭を実施しました。伐木を利用した炭焼きやキノコの菌打ち体験を通して、参加者に里山の歴史や変遷、保全活動について理解していただき、この事業を「岩屋緑地」桜広場再生の「はじめの一步」としてスタートさせることができました。	138人
外国人高校生を対象に、キャリアビジョンを描くことの重要性を伝える講演会と、外国人若手会社員と大学生を交えた座談会を実施しました。	9人
子どもたちとデジタルメディアの「創造的な出会い」をテーマに、プログラミング教育の第一人者や絵本作りアプリ開発者を講師に迎え、実践的に体験できる場として子ども向けワークショップを開催しました。ほかにも学識経験者も加わって議論を深める大人対象の参加型シンポジウムや、今後の活動を継続していくためのファシリテータ向け講習会を行いました。	145人
豊橋市民、中国人観光客のどちらからでも使える「簡単おもてなし指差し会話集付きの豊橋観光ガイドマップ」を作成・配布しました。また、フェイスブックを活用し豊橋市の観光情報を多言語で配信したほか、「おもてなし中国語講座」を豊橋商工会議所で開催しました。	10人



ええじゃん笑店



豊橋・東北幸福市



リトルプレスサミット in 豊橋

実施日	事業名称	団体名	実施場所
2月18日(土)	ええじゃん笑店	いきものがたり工房	izumoden 豊橋
2月19日(日)	プラスジャンボリー2017 in 豊橋 with オリエント楽器 ～みんなで楽しむ大合奏～	株式会社オリエント 楽器 豊橋店	穂の国とよはし芸術劇場 プラット
2月19日(日)、 3月20日(月)、 25日(土)	障害があってもこの町で共に生きるために、共に学び、共に働く	愛知県自閉症協会・つぼみの会	豊橋市保健所・保健センター ほいっふ
3月4日(土)	「知って・食べて・つながる! 豊橋・東北幸福市」	豊橋「東北幸福市」実行委員会	こども未来館 ここにこ
3月4日(土)、5日(日)	のんほいイチゴ園でイチゴ狩り婚カツしてもええじゃないか	のんほいイチゴ園とよはし	のんほいイチゴ園とよはし、南稜地区市民館
3月18日(土)～19日(日) 3月31日(金) (公開日)	ミュージックプロモーション映像制作	じゃんたらどりいむ	小島海岸、豊橋東高校、狭間公園、伊古辺、幸公園、水上ビル、大清水駅、駅前大通 など
3月19日(日)	リトルプレスサミット in 豊橋 -手づくりマルシェと豊橋レトロさんぽ-	ヒカリめがね編集部	商家「駒屋」
3月19日(日)	TOYOHASHI LOCAL IDOL FLOW 2017 春	NPO ほの国プロジェクト	豊橋駅南口駅前広場、豊橋 clubKNOT (駅前大通一丁目)
3月19日(日)	豊橋駅を中心に「ありがとう」を伝えよう! 110組の花贈りリレーマラソン	花男子プロジェクト	豊橋駅東口サークルプラザ
3月25日(土) (発刊日)	若者向け豊橋ローカルフリーペーパー製作事業	豊橋学生フリーペーパー編集部	配布場所 (市内各大学、公共施設、店舗など)
3月26日(日)	豊橋オカルト会議 (とよはしワンダーミーティング)	まちの実行委員会 Because	ちやいる一かの森(牛川町)



110組の花贈りリレーマラソン



豊橋学生フリーペーパー PLEND!



とよはし
ワンダーミ
ーティング

内容	参加人数
デザイン書道家 鈴木 愛さんによるパフォーマンス書道や筆作り体験、デザイン筆文字講座等、筆に関する企画や、匠の技の公開講座などを中心としたイベントを実施しました。	1,000人
管楽器を愛する110人が集い、プロの指揮者や演奏家とともに合奏を楽しみながら音楽の深まりや感動を創り上げる吹奏楽の演奏会を行いました。	150人
「農福連携・農業と福祉がWIN-WINの関係に。障害者雇用で農園の生産力がアップ」「特別支援教育の最前線 ユニバーサルデザインの視点をいかして」「感覚統合と作業療法のほんとの話、こどものこともっとわかりたいみなさま、一度集まってみましょう@とよはし」をテーマとした、3つの講演会を実施しました。	300人
「知って・食べて・つながる！豊橋・東北幸福市」として、復興支援、防災啓発を目的としたイベントを実施し、子どもたちや保護者に防災について身近に感じてもらうことができました。また、豊橋の高校生が被災地の高校生とワークショップを行い、将来を担う若い世代が防災について考える機会となりました。	200人
のんほいイチゴ園とよはしでイチゴ狩り婚カツを行った後、南稜地区市民館調理室にて、イチゴを使ったクレープやパフェを作って食べました。そして各日1組のカップルが成立しました。	42人
映像での表現力の醸成や、豊橋市の持つロケーション・人の優しさを後世に残していくことを目的に、ミュージックプロモーション映像の制作を行い、インターネットで公開しました。	20人
豊橋、新城、田原在住の女性12人が発行するリトルプレス（自費出版小冊子）の編集部が、「表現すること」をテーマにしたイベントを開催しました。講演会と座談会を実施したほか、絵画展、手作りマルシェなどを行いました。	1,850人
市制110周年を祝うため、各地域で活躍しているご当地アイドル14組が豊橋駅南口駅前広場とライブハウス豊橋 clubKNOT でライブパフォーマンスを行いました。同時に駅前広場ではご当地キッチンカーや売店で来場者をもてなしました。	1,200人
「豊橋駅で『ありがとう』を伝えながら花贈りをしてくれる、先着110組の皆様を対象に花束をプレゼント」という名目で事前に告知を行い、1日かけた花贈りリレーマラソンを開催しました。	230人
学生をはじめ、若者が普段から町に出てきてもらえるような情報発信を行うことを目的として、豊橋のさまざまな情報を集めた豊橋の学生向けフリーペーパーの製作を行いました。	配布部数 5,000部
豊橋のまちに存在する「不思議（ワンダー）」を発見し、持ち寄り、シェアすることで、まちの隅々までを楽しむことを目的としたイベントを実施しました。当日は、大人や子ども、留学生などが、持ち寄った不思議の内容を発表し合い、隠れた街の魅力を再発見することができました。	30人

開催日	事業名	主催	会場
平成 28 年 4 月 3 日(日)	ヒト・コト・モノ マルシェ ～東三河いいところ～ in 稲荷公園	ヒト・コト・モノ マ ルシェ実行委員会	稲荷公園
平成 28 年 4 月 29 日(金) ～5 月 1 日(日)	豊橋市制施行 110 周年記念 東日本大 震災復興支援 第 6 回豊橋カップ小学 生アイスホッケー大会	豊橋カップ実行委員 会、愛知県アイスホッ ケー連盟	アクアリーナ豊橋
平成 28 年 5 月 3 日(火)～ 5 日(木)	花交流フェア 2016	豊橋みどりの協会、豊 橋市	豊橋公園
平成 28 年 5 月 16 日(月)・ 8 月 1 日(月)	TOYO はしごナイト 2016	LOVE PORT TOWN 実行 委員会	豊橋駅周辺
平成 28 年 5 月 22 日(日)	第 3 回穂の国杯オープン 愛知空手道 選手権大会	穂の国杯実行委員会	豊橋市武道館
平成 28 年 6 月 17 日(金) ～18 日(土)	ものづくり博 2016 in 東三河	東三河広域経済連合 会	豊橋市総合体育館
平成 28 年 6 月 26 日(日)	講演会「7 ヶ国語で話そう。」	一般財団法人 言語交 流研究所 ヒッポファ ミリークラブ	アイプラザ豊橋
平成 28 年 7 月 9 日(土)	第 83 回 フォークソングサタデー	フォークソング研究 会 CLUB FOLK	LIVE HOUSE AVANTI
平成 28 年 8 月 21 日(日)	いきいきフェスタ 2016	いきいきフェスタ 2016 実行委員会、豊橋 市、豊橋市社会福祉協 議会	ライフポートとよ はし
平成 28 年 8 月 24 日(水)	第 53 回豊橋市高齢者福祉大会	豊橋市老人クラブ連 合会、豊橋市	豊橋市公会堂
平成 28 年 9 月 4 日(日)	第 57 回全三河鉄工会親善野球大会	岡崎鉄工会、豊川鉄工 会、蒲郡鉄工会、豊田 市鉄工会、豊橋鉄工会	豊橋市民球場
平成 28 年 9 月 24 日(土) ～25 日(日)	B. LEAGUE2016-17 B1 リーグ戦【第 1 戦・第 2 戦 豊橋市制 110 周年記念】 三遠ネオフェニックス VS. 川崎ブレイブ サンダース	株式会社 フェニック ス	豊橋市総合体育館
平成 28 年 9 月 24 日(土) ～25 日(日)	豊橋市制 110 周年記念 第 49 回日本女子 ソフトボールリーグ 第 7 節 豊橋大会	豊橋ソフトボール協 会	豊橋市民球場
平成 28 年 10 月 15 日(土) ～16 日(日)	第 62 回ええじゃないか 豊橋まつり	豊橋まつり振興会	市内各地
平成 28 年 11 月 13 日(土)	第 6 回ええじゃないか 豊橋音祭り	ええじゃないか豊橋 音祭り実行委員会	豊橋駅を中心とす るまちなか

開催日	事業名	主催	会場
平成 28 年 11 月 20 日(日)	第 8 回ええじゃないか！豊橋和太鼓フェスタ	豊橋太鼓連合会、豊橋和太鼓フェスタ実行委員会	ライブポートとよはし
平成 28 年 12 月 17 日(土)	こころの健康フェスティバルあいち	平成 28 年度こころの健康フェスティバルあいち実行委員会	穂の国とよはし芸術劇場プラット
平成 28 年 12 月 18 日(日)	ホノクニミュートラム ～豊橋発(初)の音電車の旅～	HONOKUNI MUTRAM 実行委員会	豊橋鉄道市内電車
平成 28 年 12 月 25 日(日)	世界雑巾 2016+ くすのきカップ 特別支援学校等レース	豊橋ちぎりライオンズクラブ	豊橋市立くすのき特別支援学校
平成 29 年 1 月 3 日(火)～ 4 日(水)	豊橋市制施行 110 周年記念 豊橋ふるさと大使凱旋講演 「新・幕末純情伝」	ネルケプランニング Grick	穂の国とよはし芸術劇場プラット
平成 29 年 2 月 26 日(日)	第 6 回ふるためあそびのがっこう	エコミュージアム研究会	豊橋市民俗資料収蔵室
通年	豊橋善意銀行 年間開催行事	公益財団法人 豊橋善意銀行	市内各地

実施主体	ロゴマーク使用対象物
株式会社 伊藤海苔店	豊橋市制施行 110 周年記念 大人の味付け海苔
株式会社 愛知毎日広告社	毎日新聞 新聞企画制作「豊橋市制 110 周年」
豊橋だいすき会	豊橋だいすき (印刷物)
株式会社 日刊工業新聞社	日刊工業新聞 広告特集企画「豊橋市 市制 110 周年記念特集」
斎藤製菓 株式会社	ファイアーヒーローズクッキー市制 110 周年メモリアルボックス
小原 昌子	市政レポート (印刷物)
株式会社 ジェイアール東海ホテル ホテルアソシア豊橋	豊橋市制 110 周年特別宿泊プラン「ずーっとよろしく、豊橋。ずーっとよろしく、アソシア。」
ポーラ 豊橋みなみランドグループ	イベント広告や店内掲示物
合同会社 花広	中日新聞 豊橋企画
株式会社 創和広告 中部支社	テレビ愛知「豊橋市制 110 周年CM内」
岩瀬 彰利	「戦前の豊橋 ～豊橋空襲で消えた街並み～」(書籍)
愛知県立豊丘高等学校 和太鼓部	Tシャツ
有限会社 樹林舎	「豊橋市の今昔」(書籍)
株式会社 日本経済新聞社 名古屋支社	日本経済新聞 広告企画『市制 110 周年 豊橋経済特集』
豊橋まちなか活性化推進協議会	豊橋まちなかイベントガイド
ジャパン・トゥエンティワン株式会社	豊橋市への本社機能移転記者会見のバックボード
豊橋創造大学 SO20 プロジェクト 加藤ゼミナール	豊橋駅前モーニングMAP

市制施行 110 周年記念事業フィナーレ・イベント

Hello Next

開催日 平成 29 年 3 月 25 日(土)
 会場 豊橋市公会堂
 参加人数 350 人

市制施行 110 周年記念事業を締めくくるフィナーレ・イベント「Hello Next」を開催しました。

110 周年記念事業を最も特徴づける市民提案イベントについて、実際に取り組みました方々によるパネルディスカッションを行い、それぞれの事業と生み出された豊橋の魅力や人と人とのつながりを振り返り、市民活動のさらなる伸展に向けて考えました。

また、会場受付には市民提案イベントにより作り出された作品を多数展示し、市民提案イベントの成果を披露しました。

イベントの最後には、市長が、110 周年にご協力いただいた市民の皆様への感謝と豊橋市のこれからに向けた「Next メッセージ」を行いました。



- 1 演劇 ～生まれたまちで～
 (桜丘高等学校演劇部)
- 2 パネルディスカッション
 「縁(えにし)をつなぐ ～そして人もまちもいきいき輝く豊橋へ～」
- 3 応援 (豊橋南高等学校応援団)
- 4 市歌合唱 (桜丘高等学校音楽科、Sakura Cantabile、ふんけんクラブほか)
- 5 市長 Next メッセージ
- 6 記念撮影



- コーディネーター 石原 俊彦 (関西学院大学教授)
- パネリスト 木村 博司 (うずらインキュベータ) / 鈴木 佑旗 (TBB3×3 運営事務局) / 清水 貴裕 (豊橋百農人) / 河村 八千子 (NPO法人 フロンティアとよはし) / 花島 紀秀 (多米校区地域教育力向上委員会) / 堀内 一孝 (豊橋市副市長)



■Nextメッセージ（要約）

110周年の数多くの事業を成功裏に終わられますのも、ひとえに多くの市民の皆様が豊橋市に深い思いを寄せ、一人ひとりができることを一生懸命頑張っていたのおかげだと感謝しております。そして、一人ひとりの市民の力がつながり、それが絆となり、そして縁（えにし）となって、今日の日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

特に市民提案イベントでは、それぞれの方が強い意志をもって企画を主導し、たくさんの仲間を得て成功することができたと感じております。

110周年を通じて、この豊橋に、日本に、世界に、様々なバックグラウンドを持ったたくさんの方がいて、それぞれの人たちが考えることを「リスペクト」することが、これからの豊橋を作っていく大事な力となり、日本を、世界を末永く平和に導いてく大きな原点になるのではないかと感じました。

私は8月1日の記念式典の日に、一人ひとりが夢を持ち、その夢の実現のために努力を積み重ねる。その夢が繋がって地域ができ、明日の豊橋、日本ができていくという話をさせていただきました。私たちは、前に向かって進んでいく市民の皆様方を応援することに、これから精一杯の努力をしていきたいと思っております。そして、豊橋市も自分たちの夢に向かって全力で努力を積み重ねて、歴史を積み重ね、皆様とともに素晴らしい未来に向かってまた一步一步進んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

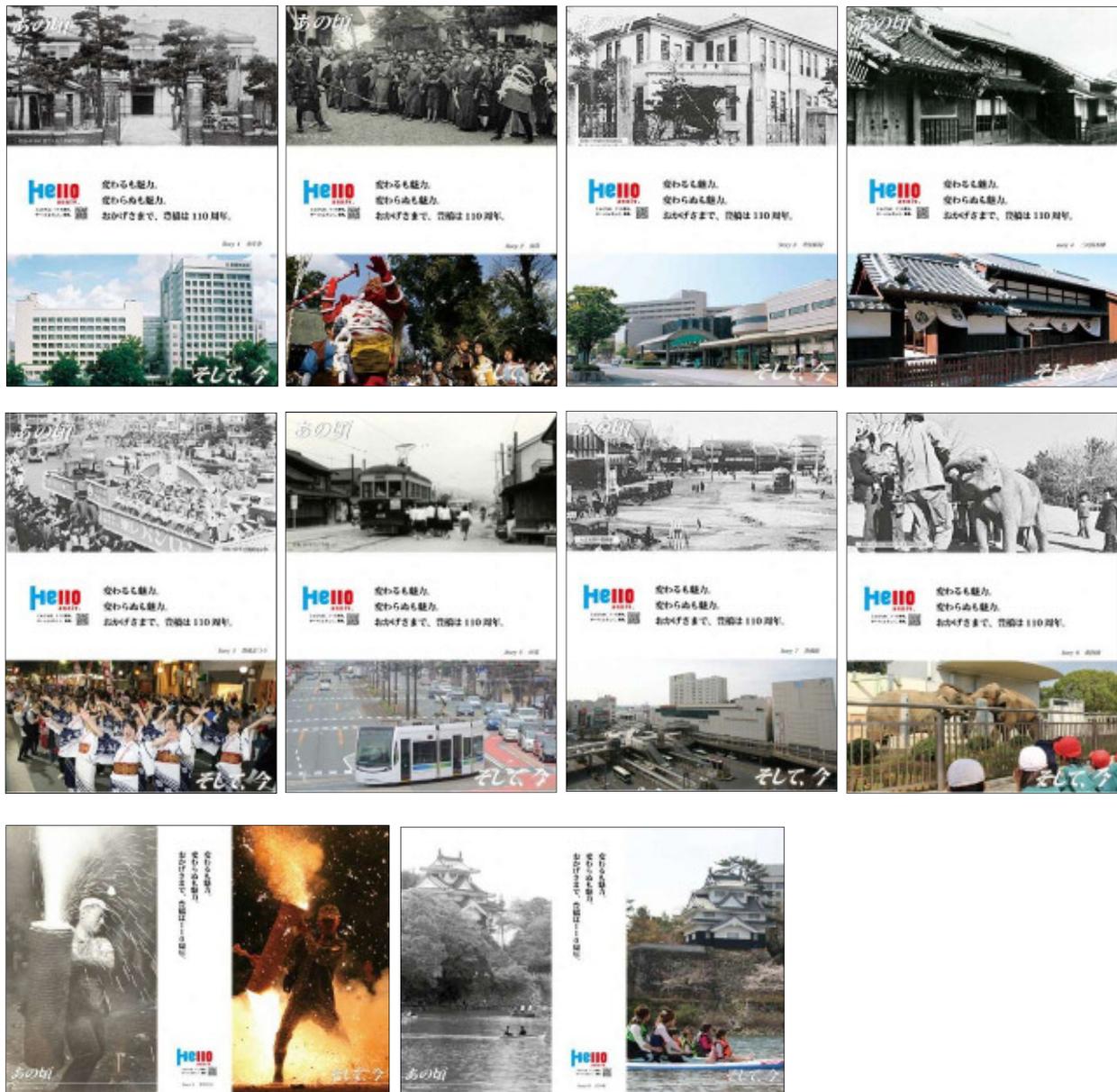
市制施行 110 周年記念事業の記録

事業数	212 事業
総参加者数	約 2,500,000 人
総協働者数	約 20,000 人



広報・PR

ポスター



フラッグ



PR 動画



「110周年動画」を作成し、ホームページで公開するとともに、豊橋駅でも放映し豊橋を訪れる方々に110周年をPRしました。

記念物品

記念切手



とよはし 110周年トヨッキーシール



豊橋の偉人

■「郷土豊橋を築いた先覚者たち」電子書籍

豊橋市制 80 周年を記念し出版された書籍を電子書籍化しました。郷土豊橋の発展に貢献した 163 人を取り上げ、一人ずつわかりやすい文章で、その生涯と業績を概説した人物史です。

■偉人紹介パネル

書籍「郷土豊橋を築いた先覚者たち」の中から 18 名を紹介するパネルを作成し、展示しました。

■とよはし偉人カフェ

記念式典が開催された穂の国とよはし芸術劇場プラットで、平成 28 年 7 月 27 日から 8 月 2 日まで開催しました。交流スクエアなどに偉人紹介パネルを展示し、「プラットカフェ・コストリカ」で村井弦斎ゆかりの特別メニューを提供しました。また、「郷土豊橋を築いた先覚者たち」の販売や、玉糸の祖 小淵志ちの生涯を描いた市民劇「ひとすじの糸」のビデオ上映を行いました。



豊橋市役所 JK 広報室

市制施行 110 周年記念事業等の若者への周知およびイベント等への参加者の増加を図るため、女子高校生により組織する「豊橋市役所 JK 広報室」を設置しました。自由な発想と想像力に加え、高い流行感度と強い発信力を持つ女子高校生が、SNS などを活用し広報活動を行いました。



激励メッセージ（動画をホームページで公開）

各分野の第一線で活躍している豊橋市出身の若い方々から激励のメッセージをいただきました。



鈴木 亜由子 さん
日本郵政グループ／陸上選手



田中 秀幸 さん
トヨタ自動車／陸上選手



山本 修平 さん
トヨタ自動車／陸上選手



高田 真希 さん
デンソーアイリス／
バスケットボール選手



鈴木 理香子 さん
フジテレビ ホウドウ
キョク 24 キャスター

出版

豊橋ライフスタイルブック「クラストコ」



英語版市勢要覧





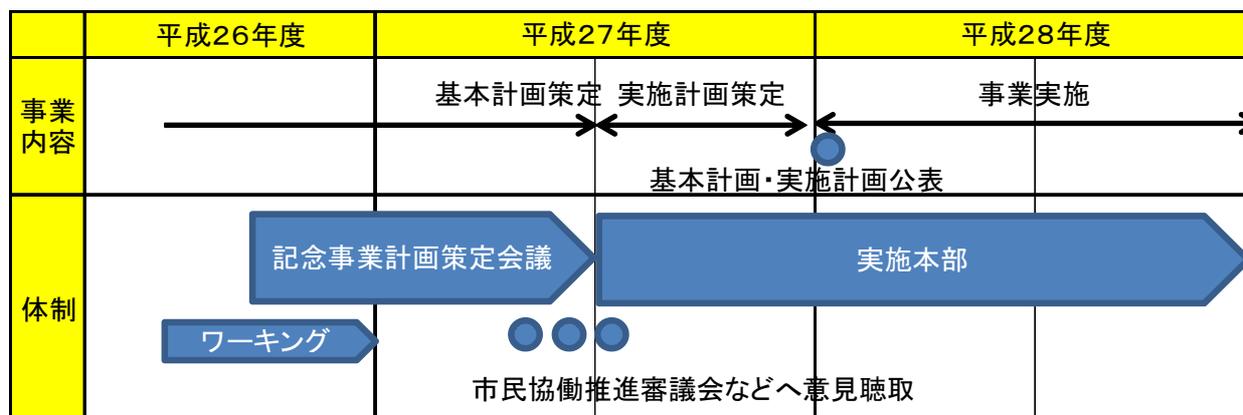
資料編

■ 推進体制・実施体制

- ・ 推進体制
- ・ 実施体制
- ・ 豊橋市制施行 110 周年記念事業実施本部設置要綱
- ・ 豊橋市制施行 110 周年記念事業市民提案イベント補助金交付要綱
（とよはし 110 周年市民提案イベント補助金交付要綱）
- ・ 豊橋市制施行 110 周年記念事業ロゴマークの使用に関する要綱

■ 豊橋市歌

推進体制



実施体制

以下の体制のもと、基本計画に掲げる理念・基本方針・テーマに基づき、実施計画に掲げるイベント等の推進を図るとともに、実施にあたっては、市民活動グループや団体、企業、大学等と連携し、市民一丸となって市制110周年を盛り上げます。

実施本部	市長、副市長、全部局長を構成員とし、基本・実施計画の策定及び110周年記念事業全体の推進を図る。
実施部会	関係部長及び関係課長を構成員とし、以下の部会のもと、具体的な内容について計画するとともに、効果的に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念式典実施部会 ・ シンボルイベント実施部会 ・ テレビ番組放送実施部会 ・ 広報・出版物等実施部会 ・ 協働事業実施部会 ・ 個別イベント実施部会
各課（室）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別イベントの企画・立案及び実施 ・ 市民提案イベントのサポート

豊橋市制施行 110 周年記念事業実施本部設置要綱

(設置)

第 1 条 市制施行 110 周年記念事業の基本計画及び実施計画に基づき、効果的な豊橋市制施行 110 周年記念事業を推進するため、豊橋市制施行 110 周年記念事業実施本部(以下「実施本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 実施本部は、記念事業に関する重要事項の実施に関することを所掌する。

(実施本部)

- 第 3 条 実施本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。
- 2 本部長、副本部長及び本部員には、別表第 1 に掲げる職にある者をもって充てる。
 - 3 本部長は、実施本部を招集し、会務を総理する。
 - 4 本部長に事故があるときは、副本部長のうちから本部長が指定した者がその職務を代理する。
 - 5 実施本部は、必要と認めたときは関係職員の出席を求め、意見を聞くことができる。

(部会)

- 第 4 条 実施本部は、必要に応じて部会を設置することができる。
- 2 部会は、本部員及び関係課長をもって組織する。
 - 3 部会長は、本部長が指名した者とする。
 - 4 部会は、部会長が必要に応じて招集し、会務を総理する。
 - 5 部会長に事故があるときは、部会長が指定した者がその職務を代理する。
 - 6 部会は、記念事業の効果的な実施に向けた具体的な調査及び検討を行い、実施本部に計画案その他必要な資料を提出する。

(事務局)

- 第 5 条 実施本部及び部会の庶務は、事務局において処理する。
- 2 事務局は、総務部行政課に置く。

(委任)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、実施本部の運営に関し、必要な事項は本部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 27 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 実施本部

役職	職名
本部長	市長
副本部長	堀内副市長、木村副市長
本部員	総務部長、教育長、危機管理統括部長、財務部長、企画部長、文化市民部長、福祉部長、こども未来部長、健康部長、環境部長、産業部長、建設部長、都市計画部長、総合動植物公園部長、市民病院事務局長、会計管理者、上下水道局長、消防長、教育部長、議会事務局長

豊橋市制施行 110 周年記念事業市民提案イベント補助金交付要綱

(とよはし 110 周年市民提案イベント補助金交付要綱)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、豊橋市制 110 周年を記念し市民からの企画提案により実施される事業(以下「とよはし 110 周年市民提案イベント」という。)に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付することについて、豊橋市補助金等交付規則(平成 7 年豊橋市規則第 8 号。以下「規則」という。)に規定するもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(補助対象事業)

第 2 条 補助金の交付の対象となるとよはし 110 周年市民提案イベント(以下「補助事業」という。)は、次の各号のいずれにも該当する事業とする。

- (1) 豊橋市制 110 周年の基本理念や基本方針にふさわしい事業
- (2) 豊橋市制 110 周年を記念して、新たに企画し、又は既存の取組を拡大し、自らが実施する事業
- (3) 豊橋らしさや豊橋市民らしさがある事業
- (4) 豊橋の魅力を広くアピールできる事業
- (5) 多くの市民が参加できる事業
- (6) 新たな出会いや交流が生まれる事業
- (7) 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに実施する事業
- (8) 前号の期間において豊橋市の補助金及び豊橋市から運営に対する財政的支援を受けている団体の補助金(団体の運営・応募以外の事業に係るものを除く。)を受けていない事業

(補助対象者)

第 3 条 補助金の交付を受けることのできる者は、個人・団体を問わないものとし、また営利・非営利についても問わないものとする。

(補助対象経費)

第 4 条 この補助金の交付の対象となる経費(以下「補助対象経費」という。)は、補助事業に要する経費であって、別表に掲げる経費とする。

(補助金額)

第 5 条 補助金の額は、500,000 円又は補助対象経費(その額に 10,000 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)のいずれか少ない額とし、予算の範囲内とする。

2 前項の規定にかかわらず、第 2 条第 2 号に該当する事業のうち、既存の取組を拡大し実施する事業の補助対象経費については、当該拡大部分のみとする。

3 前 2 項の規定にかかわらず、補助金の額は、第 8 条第 2 項に規定する企画書の審査結果通知に記載された金額を上限とする。

(企画書の提出)

第 6 条 市長は、補助金の交付に当たっては、補助金の交付を受けようとする者を公募するものとする。

2 補助金の交付を受けようとする者は、別に定める期間内に、とよはし 110 周年市民提案イベント企画書(様式第 1。以下「企画書」という。)に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 交付申請者概要書(様式第 2)
- (2) 事業計画書(様式第 3)
- (3) 収支予算書(様式第 4)
- (4) その他市長が必要とする書類

3 企画書の提出は、1 申請者につき 1 事業のみとする。

(企画書の審査等)

第 7 条 企画書の審査は、とよはし 110 周年市民提案イベント選定委員会(以下「選定委員会」という。)が行うものとする。

(審査結果の通知)

第8条 選定委員会は、企画書の審査の結果を市長に提出するものとする。

- 2 市長は、前項の審査の結果をもとに企画の決定を行い、その結果を当該申請者に通知するものとする。

(交付申請)

第9条 前条の審査の結果、補助金の交付を受けようとする者は、事業実施年度において規則第4条第1項に規定する交付申請を行うものとする。

- 2 前項の補助金交付申請書に添付を要する書類は、次のとおりとする。

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) その他市長が必要と認める書類

(申請の取下げのできる期間)

第10条 規則第7条第1項の規定による申請の取下げのできる期間は、交付の決定の通知を受理した日から10日を経過する日までとする。

(補助金の交付)

第11条 補助金は、概算払いで交付するものとする。

(実績報告)

第12条 補助事業者は、補助事業が完了したとき（補助事業の廃止の承認を受けたときを含む。）は、補助事業が完了した日から起算して30日を経過した日又は当該年度3月31日のいずれか早い日までに規則第10条第1項に規定する実績報告を行うものとする。

- 2 前項の実績報告書に添付を要する書類は、次のとおりとする。

- (1) 収支決算書
- (2) 領収書等支払内容の確認ができる書類の写し
- (3) 事業報告書（様式第5）
- (4) その他市長が必要と認める書類

(補助金の返還)

第13条 本補助金と第2条第8号に掲げる補助金以外の補助金及び補助対象事業によって生じた収入の合計が補助対象事業の事業費を上回る場合は、概算払いした補助金額を限度として上回る額を返還すること。

(書類の整備等)

第14条 規則第17条に規定する帳簿及び証拠書類は、当該補助事業の完了の日の属する市の会計年度の翌年度から5年間保存しなければならない。

(届出事項)

第15条 補助事業者は、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに文書をもってその旨を市長に届け出なければならない。

- (1) 所在地又は名称を変更したとき。
- (2) 代表者を変更したとき。

(雑則)

第16条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。ただし、予算措置を伴う部分は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）
補助対象経費

費目	主なもの
1 報償費	講師・専門家等への謝礼等
2 旅費	交通費、宿泊費等
3 需用費	消耗品費、資材・書籍等の購入費、チラシ・ポスター等の印刷製本費等
4 役務費	翻訳・原稿料、通信運搬費、保険料等
5 使用料及び賃借料	会場使用料、車両・物品・器具等のレンタル・リース料等
6 その他の経費	その他市長が必要と認める経費

備考 次の経費は補助対象経費としない。

- ・ 団体の運営に関する事務費等の経常的な経費
- ・ 団体の事務所等を維持するための経費
- ・ 団体の構成員に対する人件費や謝礼
- ・ 団体の構成員による飲食費
- ・ その他市長が補助にふさわしくないと認める経費

豊橋市制施行 110 周年記念事業ロゴマークの使用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、豊橋市制施行 110 周年記念事業ロゴマーク（以下「ロゴマーク」という。）の使用について必要な事項を定め、広くロゴマークの利活用を促進し、市制施行 110 周年のPRを図ることを目的とする。

(ロゴマークの使用)

第2条 ロゴマークの使用に関する一切の権利は、豊橋市に属する。

(使用許諾の申込み)

第3条 ロゴマークを使用しようとする者は、あらかじめ豊橋市長（以下「市長」という。）の許諾を受けなければならない。ただし、次条各号に掲げる者については、この限りでない。

2 前項の規定による使用許諾を受けようとする者は、使用許諾申込書（様式第1号。以下「申込書」という。）に係る書類を添えて、あらかじめ市長へ提出しなければならない。その申込内容に変更が生じたときも、同様とする。

3 市長は、前項の規定により申込みを行った者（以下「申込者」という。）に対し、必要に応じ資料等の提出を求めることができる。

(使用許諾の届出)

第4条 次に掲げる者が、ロゴマークを使用する場合は、事前に市長へ届出をしなければならない。

- (1) 豊橋市又は公共的団体
- (2) 報道機関（報道の目的に使用する場合に限る。）
- (3) その他市長が許諾を要しないと認めた者

(使用許諾の決定)

第5条 市長は、申込書が提出されたときは、その適否を決定し、使用許諾書（様式第2号）又は使用不許諾通知書（様式第3号）により、申込者に通知するものとする。

2 前項の規定による使用許諾においては、市長は、必要な条件を付することができる。

3 使用許諾の期間は、使用許諾の決定日から平成 29 年 3 月 31 日までとする。

(使用許諾の制限)

第6条 市長は、ロゴマークの使用目的が次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用を許諾しないものとする。

- (1) 個人・団体のマーク又は商標として独占的に使用する場合
- (2) 政治、宗教、思想等の活動に利用しようとする場合
- (3) 法令及び公序良俗に反し、又はそのおそれのある場合
- (4) 豊橋市のイメージを損なうおそれのある場合
- (5) 市制施行 110 周年記念事業のイメージを損なうおそれがあると認められる場合
- (6) その他市長がロゴマークの利用が適当でないとして認められる場合

(遵守事項)

第7条 使用許諾を受けた者（以下「使用者」という。）は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) ロゴマークの使用が第1条に規定する目的にあることに留意し、その趣旨を損なわないよう十分に注意すること。
- (2) ロゴマークの使用にあたっては、使用許諾を受けた範囲に限ること。
- (3) 使用許諾を受けた権利を譲渡、転貸又は承継しないこと。
- (4) その他各種の法令を遵守すること。

(使用料)

第8条 ロゴマークの使用料については、無料とする。

(使用許諾の取消し等)

第9条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用許諾を取り消し、使用者に対し、必要な措置を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの要綱の定める事項に違反した場合
- (2) 使用者が使用許諾に付した条件に違反した場合
- (3) 申込書の内容に虚偽のあることが判明した場合
- (4) その他市長が適当でないと認めた場合

(使用許諾を受けないで使用した場合の措置)

第10条 市長は、使用許諾を受けないでロゴマークを使用している者に対し、当該使用の停止を求めらるものとする。

(賠償責任等)

第11条 豊橋市は、使用許諾を行ったことに起因し生じた損失補償等について、一切の責任を負わない。

2 使用者は、使用対象物等の瑕疵により第三者に損害を与えた場合は、これに対し全責任を負い、豊橋市に迷惑を及ぼさないように処理するものとする。

3 使用者は、ロゴマークの使用に際して故意又は過失により豊橋市に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を豊橋市に賠償しなければならない。

4 市長は、前2項の規定に違反する使用者に対し、必要な措置を行うよう命ずることができるとともに、必要な法的措置をとることができる。

(事務)

第12条 この要綱に関する事務は、総務部行政課、企画部広報広聴課及び文化市民部市民協働推進課が行う。

(その他)

第13条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成27年12月1日から施行する。

(失効)

2 この要綱は、平成29年3月31日限り、その効力を失う。

豊橋市歌

詩補曲
利郎 己山 辰丸
而 裕 古



豊橋市歌

一、太平洋の 潮騒を

希望の歌と 聴くところ

脈打つ若さ はつらつと

伸びゆく力 たくましき

見よ躍進の 産業都

豊橋われら いざ挙げ

二、山なみ青き 三河野に

みのりは夢を 呼ぶほとり

装いここに 新しく

七彩虹も かがやける

見よ繁栄の 商業都

豊橋われら いざ誇れ

三、ゆたけき流 豊川に

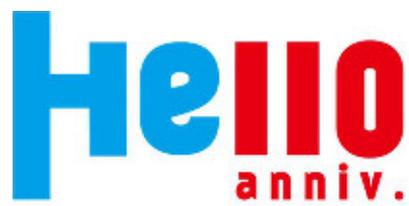
いにしえしのぶ 吉田城

歴史の絵巻 花に映え

文化と競う 美しき

見よあこがれの 観光都

豊橋われら いざ興せ



こんにちは、110周年。
ずーっとよろしく、豊橋。

豊橋市制施行 110 周年記念事業実施報告書

豊橋市役所 総務部行政課

〒440-8501 豊橋市今橋町 1

Tel 0532-51-2027 Fax 0532-56-0789

E-mail / gyosei@city.toyohashi.lg.jp